

船橋市運動公園体育館空調設備設置工事

建 築 図				電 気 設 備 図	
図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A-01	図面リスト	A-21	西、南断面・展開図	E-01	電気設備工事特記仕様書
A-02	建築改修工事特記仕様書(1)	A-22	断面詳細図(空調設置参考図)	E-02	受変電設備単線結線図(改修前・改修後)・電気室平面図
A-03	建築改修工事特記仕様書(2)	A-23	屋外機置場詳細図	E-03	動力分電盤負荷表
A-04	建築改修工事特記仕様書(3)	A-24	1階天井伏図	E-04	幹線・動力設備系統図
A-05	建築改修工事特記仕様書(4)	A-25	2階天井伏図	E-05	1階動力設備外構図(改修後)
A-06	建築改修工事特記仕様書(5)	A-26	(参考)仮設計画図1	E-06	1階空調用電源設備平面図(改修後)
A-07	建築改修工事特記仕様書(6)	A-27	(参考)仮設計画図2	E-07	1階空調用電源設備平面詳細図(改修後)
A-08	建築改修工事特記仕様書(7)	A-28	(参考)仮設計画図3	E-08	2階空調用電源設備平面図(改修後)
A-09	建築改修工事特記仕様書(8)			E-09	3階空調用電源設備平面図(改修後)
A-10	材料等品質性能表(1)			E-10	3階空調用電源設備平面詳細図(1)改修後
A-11	材料等品質性能表(2)			E-11	3階空調用電源設備平面詳細図(2)改修後
A-12	材料等品質性能表(3)			E-12	1階電灯・コンセント設備平面図(改修後)
A-13	案内図・配置図			E-13	2階電灯・コンセント設備平面図(改修後)
A-14	仕上表			E-14	3階電灯・コンセント設備平面図(改修後)
A-15	1階平面図			E-15	1階電灯・放送・自火報設備平面図(改修前・改修後)
A-16	2階平面図			E-16	2階電灯・放送・自火報設備平面図(改修前・改修後)
A-17	3階平面図				
A-18	西、南側立面図				
A-19	東、北側立面図				
A-20	東、北断面・展開図				

	(有)川治邦夫建築設計事務所	一級建築士事務所登録 1-2203-2387 一級建築士大臣登録 第148925号 川治邦夫	工 事 名	船橋市運動公園体育館空調設備設置工事		図面番号	
			図 面 名	図面リスト	縮尺	NS	A - O 1
				船橋市都市整備部公園緑地課		令和 8年度	(O 1 / 4 4)

[illegible]

[illegible]

3 防水改修工事

○11 とい

○12 アルミニウム製 笠木

3-2 屋根改修工事

○1 長尺金属板葺

○2 折板葺

4 外壁改修工事

○1 施工数量調査

4-1 外壁改修工事

○1 ひび割れ部改修 工法

○2 欠損部改修工法

○3 ひび割れ部改修 工法

○4 欠損部改修工法

○5 浮き部改修工法

○6 目地改修工法

4-4 外壁改修工事

●1 既存塗膜等の除去 及び下地処理

●2 下地調整塗材

●3 仕上塗材仕上げ

○4 マスチック塗材 塗り

○5 外壁用 防水材塗り

工事名 船橋市運動公園体育館空調設備設置工事

図面番号 A-04

図面名 建築改修工事特記仕様書(3)

船橋市都市整備部公園緑地課

令和8年度

[illegible]

O23特殊機能床材

[6.8.2]

シート種別

厚さ、寸法

性能

種類

○シート防止床シート

(mm)

○帯電防止床タイル

×

(mm)

○視覚障害者用床タイル

(mm)

○耐動荷重性床シート

(mm)

○防滑性床シート

(mm)

○防滑性床タイル

×

(mm)

※視覚障害者用床タイル

突起の形状、寸法及びその配列は JIS T 9521 による

O24ビニル幅木

[6.8.2]

材質の種類

○軟質

○硬質

高さ(mm)

※60

○75

○100

厚さ(mm)

※1.5以上

○

O25ゴム床タイル

[6.8.2]

種類

○単送品

○積層品

色柄()

厚さ(mm)

寸法(mm)() × ()

O26下地の工法

[6.8.3]

改修標準仕様書6.8.3(1)⑦～⑨以外の下地の工法

○図示

○

O27カーペット敷き

[6.9.2、3][表6.9.1、2]

織り方

縦じゅうたん

バйл形状

○ウェストンカーベット

○フェイストゥフェイスカーベット

○アキスミンスターカーベット

○カットバйл

○ルーpbail

○カットノールpbail

色柄

※模様のない無地

○

pail盒の繊維経等

※無地の織じゅうたんの種別(種別：○A種 ○B種 ○C種)

○

帯電性

○適用する

○適用しない

織じゅうたんの接合方式

※ヒートボンド工法

○つづり縫い

下敷き材

※反毛フェルト(JIS L 3204)の第2種2号

呼び厚さ

8mm

○

○タフテッドカーベット

バйл形状

n'長さ(mm)

工法

帯電性

備考

○カトルバйл

○5〜7

○

○全面接着工法

○適用する

○k-p'バйл

○4〜6

○

○g'リッパ - 工法

○適用しない

○カトル、k-p'併用

○

下敷き材(グリッパ-工法の場合)

※反毛フェルト(JIS L 3204)の第2種2号

呼び厚さ

8mm

○

○タイルカーベット

バйл形状

種別

施工箇所

寸法

総厚さ(mm)

備考

※ルーpbail

※第一種

※500×500

○

○

○カットバйл

○第一種

※500×500

○

○

○第二種

○

○

○カット、ルーpb併用

○第一種

※500×500

○

○

○第二種

○

○

タイルカーベツト用接着剤のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

○

タイルカーベツトの敷き方

平場

※市松敷き

○模様流し

○

階段部分

※模様流し

○市松敷き

○

見切り、押え金物

材質()

種類()

形状等

※図示

○

O28合成樹脂塗床

[6.10.2、3][表6.10.5〜7]

種別

施工箇所

工法

仕上りの種類

○厚膜型塗床材

弾性セツク樹脂系塗床材

○平滑仕上げ

○防滑仕上げ

○つや消し仕上げ

○厚膜型塗床材

セツク樹脂系塗床材

○平滑仕上げのペ工法

○厚膜流しのペ工法

○樹脂モザイク工法

○薄膜型塗床材

(セツク樹脂系塗床)

○平滑仕上げ

○7ｸﾞﾗﾑ樹脂塗床

(防護塗料塗り)

※製造所の指定による

工程

塗布量

※0.25kg/m²以上

表面仕上げ

※平滑

○防滑

溶剤

※水性

○溶剤系

○無溶剤系

仕上げ色

※標準色

○

塗床材のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

○

O29フローリング張り

[6.11.2〜6][表6.11.1〜4]

フローリングのホルムアルデヒドの放散量等

※改修標準仕様書6.11.2(2)による

○

各工法に使用する接着剤のホルムアルデヒドの放散量

※F☆☆☆☆

○

○単層フローリング(フローリングボード1等)

工法

○釘止め工法(○根太張り ○直張り)

○接着工法

樹種

※なら

○

間伐材等の適用

○適用する

○適用しない

○単層フローリング(フローリングブロック1等)

樹種

○

厚さ(mm)

○

大きさ

○

間伐材等の適用

○適用する

○適用しない

○複合フローリング

工法

○釘留め工法(○根太張り ○直張り)

○接着工法

樹種

※なら

○

種類

○A種

○B種

○C種

間伐材等の適用

○適用する

○適用しない

接着工法の場合の不陸緩和材

※合成樹脂発泡シート

○

○現場塗装仕上げ

※ウレタン樹脂ワニス塗り

○オイルステインの上、ﾌｳｯｸｽ塗り

○生地そのままﾌｳｯｸｽ塗り

O30畳敷き

[6.12.2][表6.12.1]

種別

○A種(畳表：○JIS(特等糸床) ○J1(一等糸床))

○B種

○C種(畳床：OPS-C20 OPS-C25 OPS-C30)

○D種(畳床：OKT-I OKT-II OKT-III OKT-K OKT-N)

下地の種類

○標準仕様書 表12.6.1による床組

○ポリスチレンフォーム床下地(ﾉﾝﾌﾟﾛﾝ ㊤)

○

畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発生が極めて少ない材料を使用したものとする。

衝撃緩和型畳(畳表：OC1 OC2)

MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

○

合板のホルムアルデヒド放散量

※改修標準仕様書6.13.2(2)④(a)〜④(d)のいずれか

○

合板の防虫処理の適用

○行う

○行わない

接着剤のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

○

MDf及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

○

合板のホルムアルデヒド放散量

※改修標準仕様書6.13.2(2)④(a)〜④(d)のいずれか

○

合板の防虫処理の適用

○行う

○行わない

接着剤のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

○

木毛セメント板

㊤

種類

厚さ(mm)、規格等

○硬質(HW)

○15

○20

○25

○

○中質(MW)

○15

○20

○25

○

○普通(NW)

○15

○20

○25

○

本片セメント板

㊤

種類

厚さ(mm)、規格等

○硬質(HF)

○12

○15

○18

○21

○普通(NF)

○30

○

繊維強化セメント板

種類

厚さ(mm)、規格等

○けい酸カルシウム板

普通ボード0.8FK タイプ2(無石綿)

○6

○8

○化粧けい酸カルシウム板

普通ボード0.8FK タイプ2(無石綿)

○6

○8

表面への化粧張り等の加工

○アクリル樹脂系焼付け

○

火山性ガラス質複層板(VSボード)

種類

厚さ(mm)、規格等

○火山性ガラス質複層板

○図示

○普通

○化粧

繊維強化セメント板

㊤

種類

厚さ(mm)、規格等

ハードボード

○素地ハードボード(○未研磨板(RN) ○研磨板(RS))

○スタンダードボード(無処理)

○内装用化粧ハードボード(DI)

○2.5

○3.5

○5

○7

ハードボード

○素地ハードボード(○未研磨板(RN) ○研磨板(RS))

○チンパードボード(処理)

○外装用化粧ハードボード(DE)

○2.5

○3.5

○5

○7

○ミディアムデンシティファイバーボード(MDF)

○3

○7

○9

○12

○インシュレーションボード

A級(○天井仕上げ ○内装仕上げ ○)

○9

○12

○15

○18

パーティクルボード

㊤

種類

厚さ

[illegible]

環境配慮
改修工事

○石綿含有仕上塗材又は石綿含有成形板（下地調整材）の除去
除去対象範囲 ○図示 ○
着工前の試験施工 ○図行 ○行わない
除去工法 ○集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法
○集じん装置併用手工具ケレン工法
○集じん装置付き高圧水洗工法（15MPa以下、30～50MPa程度）
○集じん装置付き超高圧水洗工法（100MPa以上）
○制塵剤併用超音波ケレン工法
○制塵剤併用手工具ケレン工法
○制塵剤併用高圧水洗工法（30～50MPa程度）
○制塵剤併用超高圧水洗工法（100MPa以上）
○超音波ケレン工法（HEPAフィルター付き掃除機併用）
養生方法 ○
石綿含有仕上塗材又は石綿含有成形（下地調整材）の除去
（1）制塵剤を使用する工法では、ジクロロメタン等の有害性の高い化学物質を使用しない。
制塵剤使用量 〇 6～1、0kg/m²
（2）水を使って除去する工事の場合には、未処理の廃水が流出・地下浸透しないようすべて回収しなければならぬ。回収した廃水は、凝集沈殿後に上澄み水をろ過処理する等により、適切に処理した上で放流すること。
除去した石綿含有仕上塗材の処分 ○埋立処分（安定型最終処分場）
○埋立処分（管理型最終処分場）
○中間処理（溶融施設または無害化処理施設）
石綿含有建材除去後の仕上り工事 ○図示 ○

種 類 採取する部位、箇所数 備考
○PCB含有シーリング分析調査（第一次判定） 部位 ○図示 ○箇所数 箇所
○PCB含有シーリング分析調査（第二次判定） 部位 ○図示 ○箇所数 箇所
※1次分析（PCB含有分析の要否判定）
工事に先立ち、工事範囲のシーリング材を各部位毎に採取し、シーリング材種についての判定を行うこと。なお、判定結果は速やかに監督職員に報告し、PCB含有分析が必要な場合は監督職員と協議すること。
※2次分析（PCB含有分析）
PCBの含有について分析を行うこと。なお、分析結果は監督職員に報告すること。
1）採取方法 分析機関の指定する方法により採取する。
2）分析方法 GC-ECD法による（JIS K0114）
シーリングにPCBが含有していた場合の措置
○除去処理工事 除去範囲 ○図示 ○
1）除去方法 「標準施工要領書」（日本シーリング工業協同組合連合会／日本シーリング材工業会）による
2）処理方法 関係法令により適切に処理すること。また、密封できる容器に保管し、採取時期、使用部位、PCBが含有していることを明記の上、施設管理者へ引き渡す。
断熱材
断熱材の種類 ○
断熱材の厚さ（mm） ○
施工箇所 ○図示 ○
ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ○
外装材
種類 防火性能 備考
○
鋼材 改修標準仕様書表9.2.7による。
並木 改修標準仕様書3章9節による。
既存外壁の処置
既存外壁仕上材の撤去 ○行行 ○行わない
下地の清掃 ○行行 ○行わない
欠損部の改修工法 改修標準仕様書4章による ○
工法
1-4 適用区分による風圧力（O1 O1.15 O1.3）倍の風圧力に対応した工法
不陸等の下地調整 ○
断熱材の施工 ○断熱材製造所の仕様による ○
外壁材の施工 ○外壁材製造所の仕様による ○
遮気層の有無 ○あり（mm） ○なし
外装材の外壁への取付け ○図示 ○
芯木の施工 ○改修標準仕様書3章9節による ○
フェノールフォーム断熱材又は保温剤、接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ○
開口部等補修のための張付け用の接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ○
工法
○断熱材打込み工法 断熱材 JIS A 9521 に基づく発泡プラスチック断熱材
種類 ○
厚さ（mm） ○
施工箇所 ○
○断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 ○A種 1 ○A種 1 H ○
吹付け厚さ（mm） ○25 ○30 ○
施工箇所 ○図示 ○
○断熱材後張り工法 断熱材 JIS A 9521 に基づく発泡プラスチック断熱材
種類（mm） 厚さ（mm）
○断熱材にせっこうボード等を貼り付けたパネル 材質 ○ 厚さ ○（mm）
○張り付け工法 断熱材の張り付け工法 ○
断熱材へのボードの張付け工法 ○
○ 6 屋上緑化改修工事 図
植栽基盤及び材料
○屋上緑化軽量システム
芝及び地被類の種類等 図示 ○
見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等 図示 ○
品質・性能及び試験方法は建築材料等品質性能表（改修）による
工法 1-4 適用区分による風圧力の（O1 O1.15 O1.3）倍の風圧力に対応した工法
かん水装置 ○設置する（種類 ○）
既存保護層の撤去 ○行行 ○行わない
新植した芝及び地被類の枯保証の期間 図引き渡しの日から1年 ○

○ 3 PCB含有
シーリング材
の処理

○ 4 外断熱改修工事 図

○ 5 断熱・防露改修
工事 図

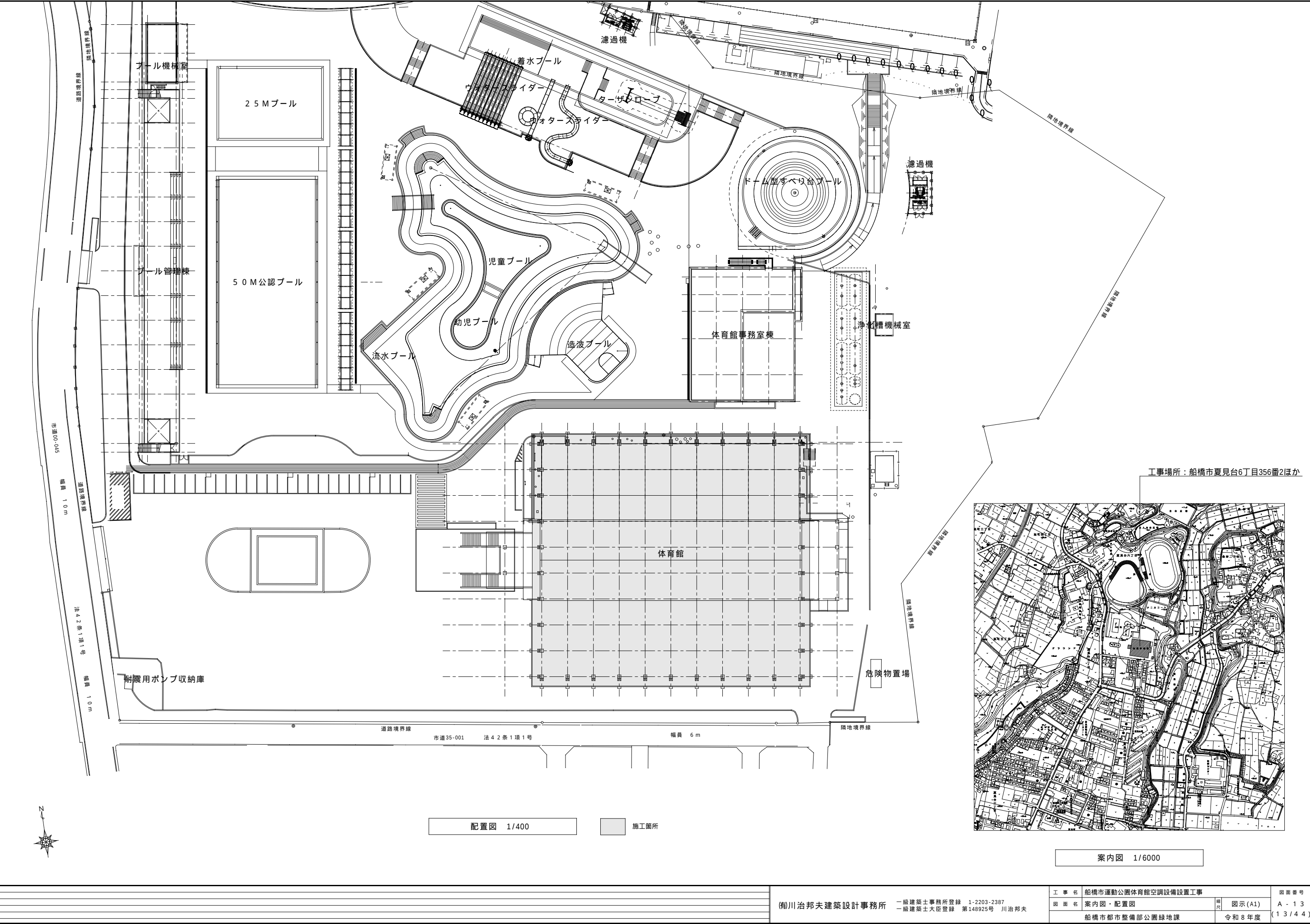
○ 6 屋上緑化改修工事 図

○ 7 透水性
アスファルト
舗装改修工事
適用範囲：歩道
既存舗装の撤去及び再利用 図示 ○
路床
路床の材料
種別 材料 厚さ（mm）
○盛土 ○A種 ○B種 ○C種 ○D種 ○図示 ○
○凍上抑制層 ○再生クラッシャーラン 図 クラッシャーラン ○図示 ○
○切込み砂利 ○切込み砂利 ○
○砂（改修標準仕様書表9.5.11による） ○
○フィルター層 ○改修標準仕様書表9.5.3(2)（a）による ○図示 ○
（凍結抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験）
○行行 ○行わない
○路床安定処理 ○適用する ○適用しない
安定処理の方法 ○置き換え工法（○） ○安定処理工法
路床安定処理添加材料
種類 ○普通ポルトランドセメント ○高炉セメントB種 図
○フライッシュセメントB種
○生石灰（O特号 O1号） ○消石灰（O特号 O1号）
添加量 ○ kg/m³（目撃OCR ※3以上 ○）
安定処理工法に関する試験
安定処理のCBR試験（配合試験含む） ○行行 ○行わない
安定処理のCBR試験、配合試験は「舗装調査・試験法便覧」（安定処理土のCBR試験方法（JGS 0811準拠））、「舗装施工便覧」（5-1-4（1））による
六価クロム溶出試験 ○行行 ○行わない
六価クロム溶出試験は「セメント及びセメント系固材化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領（案）」により実施し、土壌環境基準を超えないことを確認すること。
試験
路床土の支持力比（CBR）試験（資料採取方法 ○変状土 ○現状土）
○行行（箇所） ○行わない
現場CBR試験 ○行行（箇所） ○行わない
路床締固め度の試験 ○行行（箇所） ○行わない
○不織布（ジオテキスタイル）
単位面積質量 ○60g/m²以上 ○
厚さ（mm） ○0.5～1.0 ○
引張強さ ○98N/5cm（10kgf/5cm）以上 ○
透水性係数 ○1.5×10⁻⁶cm/sec以上 ○
路盤
路盤の厚さ ○図示 ○
路盤材料（改修標準仕様書表9.5.3による種別）
○クラッシャーラン ○粒度調整砕石 ○再生クラッシャーラン 図
○再生粒度調整砕石 図 クラッシャーラン鉄鋼スラグ 図
○粒度調整鉄鋼スラグ 図 ○水硬性粒度調整鉄鋼スラグ 図
舗装の構成 ○図示 ○
開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ○行行 ○行わない
舗装の平坦性 図著しい不陸がないもの ○
1. 埋め戻し及び盛り土（3.2.3）（表3.2.1）
種別 ○A種 ※B種 ○C種 ○D種
○建設汚泥から再生した処理土 図
千葉県条例に基づく「建設発生土管理基準」及び「建設副産物処理基準」（別記1-1）に基づき適正に処理すること。
2. 建設発生土の処理（3.2.5）
○構外搬出適切処理（別記-1による）
●構内指示の場所に敷き均し、○構内指示の場所に堆積、○（ ）
1. 補強コンクリートブロック造（8.2.2～5）
○ブロックの種類：
断面形状及び圧縮強さによる区分 正味厚さ（mm） モジュール呼び寸法（mm）長さ 高さ 化粧の有無 適用箇所 備考
○ 無、○有
○ 無、○有
モルタル割合（容積比）：○（セメント（ ））：砂（ ）
各部の配筋：○図示、○（ ）
モルタル又はコンクリートで充填するブロックの範囲：○図示、○（ ）
2. コンクリートブロック機壁及び塀（8.3.2～4）
○ブロックの種類：
断面形状及び圧縮強さによる区分 正味厚さ（mm） モジュール呼び寸法（mm）長さ 高さ 化粧の有無 表8.3.1以外の適用箇所 備考
○空洞ブロックC(16) 無、○有
○型枠状ブロック20 無、○有
○ 無、○有
塀の厚さ（mm）：
塀の高さが2m以下 ※120、○（ ）
塀の高さが2mを超え ※150、○（ ）
壁鉄筋の接手、定着及び束端部の折り曲げ形状：○図示、○（ ）
各部の配筋：○図示、○（ ）
施 工
※外壁面に取付く金属製建具の既存ガラススクリーニング（両面）は本工事とする。
1 共通事項
1) 「千葉県建設リサイクル推進計画2016ガイドライン」に基づき、本工事に係る「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」を「建設副産物情報交換システム（CORRIS）」により作成し、施工計画書に含め各1部提出すること。
また、計画の実施状況（実績）については、「再生資源利用実施書」及び「再生資源利用促進実施書」並びに「建設副産物情報交換システム工事登録証明書」を同システムにより作成し、各1部提出するとともに、これらの記録を工事完成後一年間保存しておくこと。
◎作成対象工事
「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」は請負金額が、「再生資源利用実施書」及び「再生資源利用促進実施書」並びに「建設副産物情報交換システム工事登録証明書」は最終請負金額が100万円以上の全ての工事について建設資材の利用、建設副産物の発生・搬出の有無にかかわらず作成する。
2) 「建設副産物の処理基準及び再生資材の利用基準」に基づき、建設副産物の処理に先立ち、「建設副産物処理承認申請書」を作成し、監督職員の確認を受け、同申請書を1部提出すること。なお、建設廃棄物の処理を委託する場合は、収集運搬又は処分について許可業者と各々建設廃棄物処理契約を締結し、「建設廃棄物処理委託契約書」を監督職員に提示するとともに、同契約書の写しを同申請書に添付すること。建設副産物の処理完了後速やかに、「建設副産物処理調査」を作成し、1部提出するとともに、実際に要した処理費等を証明する資料（受入伝票、写真等）を監督職員に提示し確認を受けること。
3) 建設副産物の処理に当たって、産業廃棄物管理票制度に基づく manifests 方式による場合は、原則として複写式伝票のD票及びE票を監督職員に提示すること。また、電子 manifests 方式による場合は、原則として廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき指定された情報処理センターが発行する当該工事の manifests 情報を収録した電子媒体又は建設廃棄物の引渡し時、運搬終了時及び処分終了時に登録される情報を印刷したもの（受渡確認票等）を監督職員に提示すること。
土砂等に係る条例を遵守し、また、「建設発生土管理基準」及び「建設副産物に係る処理基準及び再生資材の利用基準」に従い適正に処理を行うこと。
なお、この基準は次のものに適用する。
○埋立て成いは、工事間利用等をする建設発生土の管理
○公共工事以外から搬入される土砂等の管理
（1）指定（A）（工事間利用）の場合
発生する建設発生土のうち、下記に示す発生土については、工事間利用を図り指定地に搬出するものとする。
ア 搬出し（相手先工事名、工事場所等）
市 町地先
イ 土質及び処分量：第 種建設発生土 m³
ウ 搬出時期：令和 年 月～令和 年 月
（2）指定（A）（その他）の場合
建設発生土（2.0 m³）は、柏市若毛白土角95番町地先に搬出するものとする。
（3）指定（B）の場合
建設発生土（ m³）は、片道運搬距離 kmに搬出するものとする。
数量 搬出先 片道運搬距離 処分方法 備考
○路盤廃材 t 都市 町地先 km 中間処理場 最終処分場
数量 搬出先 片道運搬距離 処分方法 備考
○コンクリート塊（無筋） t 都市 町地先 km 中間処理場 最終処分場
○コンクリート塊（有筋） t 都市 町地先 km 中間処理場 最終処分場
●アスファルト塊 2.0 m³ 都市 町地先 km 中間処理場 最終処分場
○その他がれき類 m³ 都市 町地先 km 中間処理場 最終処分場
○廃プラスチック m³ 都市 町地先 km 中間処理場 最終処分場
●金属くず 0.7 m³ 都市 町地先 km 中間処理場 最終処分場
○その他くず類 m³ 都市 町地先 km 中間処理場 最終処分場
●焼石石膏ボード 2.7 m³ 都市 町地先 km 中間処理場 最終処分場
●混合廃棄物 2.0 m³ 都市 町地

[illegible]

[illegible]

[illegible]



配置図 1/400

施工箇所



工事場所：船橋市夏見台6丁目356番2ほか

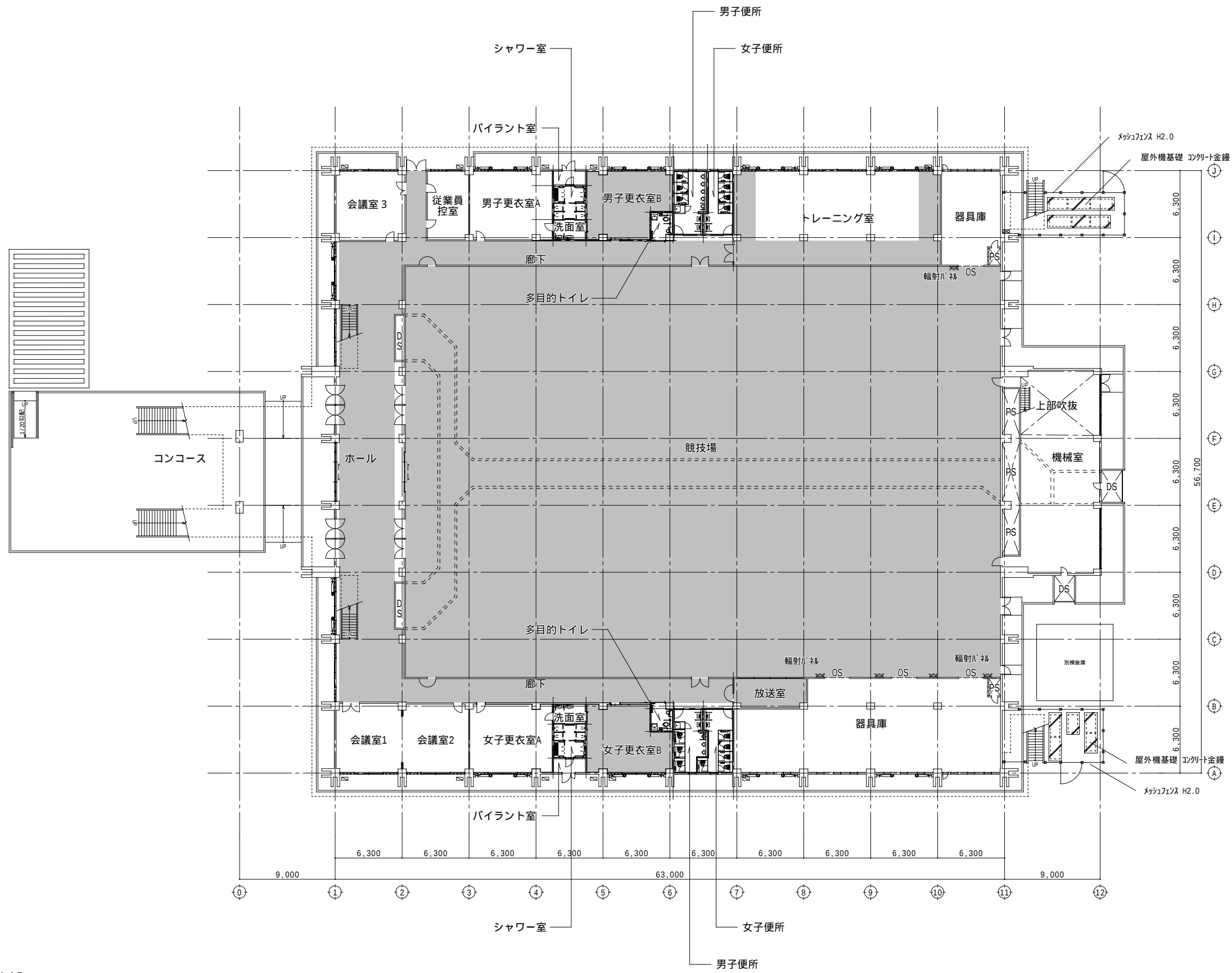
案内図 1/6000

			(有)川治邦夫建築設計事務所 一級建築士事務所登録 1-2203-2387 一級建築士大臣登録 第148925号 川治邦夫		工 事 名 船橋市運動公園体育館空調設備設置工事			図面番号	
					案 内 図 ・ 配 置 図		縮尺	図示(A1)	A - 13
					船橋市都市整備部公園緑地課		令和8年度		(13/44)

外 部 仕 上 表			
外 壁	コンクリートの上、水系アクリルシリコン樹脂塗装	バルコニー	コンクリートの上、水系アクリルシリコン樹脂塗装 (軒裏)コンクリートの上、AEP塗り

内 部 仕 上 表										
	室 名		床	巾 木	腰 壁	壁	天 井	廻り縁	そ の 他	
			FL+				CH			
1 階	競技場	既存	大型積層フローリング(桧) t15.0 カバー工法 置床下地の上、捨て板(杉) t18.0 フローリング(桧) t18.0	±0	桧 EP塗り (H100)	有孔ベニヤ t9.0 及び t6.0底目地貼 EP塗り 一部有孔ラワンベニヤ t9.0 及び t6.0底目地貼 EP塗り	グラスウール化粧吸音板 t25.0 (80kg品)			
		改修								空冷ヒートポンプエアコン・冷媒循環型輻射パネル設置 (設備工事)
	トレーニング室	既存	フローリング(桧) t18.0 置床下地の上、捨て板(杉) t18.0	±0	桧 VP塗り (H100)	モルタル仕上げ VP塗り コンクリート下地	ラワンフローリング t15.0 OS CL塗り	2,900		
		改修								
	放送室	既存	木造床組の上、タイル貼	±0	桧 VP塗り (H100)	有孔ベニヤ t9.0底目地貼 VP塗り ロックウール t25.0充填 ※ リフレクフィルム押え	石膏ボード t9.0の上、岩綿吸音板 t12.0 LGS下地	2,450		天井材：アスベスト含有見込み (レベル3)
		改修					石膏ボード t9.5の上、ロックウール化粧吸音板 t9.0 LGS下地	2,450		
	更衣室 (男子B, 女子B)	既存	タイル貼 モルタル下地	±0	ビニル (H100)	モルタル仕上げ VP塗り コンクリート下地	石膏ボード t9.0下地底目地貼 キンキ付吹付 LGS下地	2,450		天井材：アスベスト含有見込み (レベル1)
		改修					化粧石膏ボード t9.5 LGS下地	2,450		
	ホール	既存	ビニル床シート t2.0 モルタル下地	±0	ビニル (H100)	モルタル仕上げ VP塗り コンクリート下地	石膏ボード t9.5の上、岩綿吸音板 t9.0 LGS下地	2,650		天井：2013年改修済み
		改修					石膏ボード t9.5の上、ロックウール化粧吸音板 t9.0 LGS下地	2,650		
	廊 下	既存	ビニル床シート t2.0 モルタル下地	±0	ビニル (H100)	モルタル仕上げ VP塗り コンクリート下地	石膏ボード t9.5の上、岩綿吸音板 t9.0 LGS下地	2,500		天井：2013年改修済み
		改修					石膏ボード t9.5の上、ロックウール化粧吸音板 t9.0 LGS下地	2,500		
2 階	ホワイエ	既存	ビニル床シート t2.0 モルタル下地		ビニル (H100)	モルタル仕上げ VP塗り コンクリート下地	石膏ボード t9.5の上、岩綿吸音板 t9.0 LGS下地	2,700		天井：2013年改修済み
		改修					石膏ボード t9.5の上、ロックウール化粧吸音板 t9.0 LGS下地	2,700		
	ホール	既存	ビニル床シート t2.0 モルタル下地		ビニル (H100)	モルタル仕上げ VP塗り コンクリート下地	石膏ボード t9.5の上、岩綿吸音板 t9.0 LGS下地	2,950		天井：2013年改修済み
		改修					石膏ボード t9.5の上、ロックウール化粧吸音板 t9.0 LGS下地	2,950		
3 階	観客席	既存	モルタル仕上げ コンクリート下地		モルタル VP塗り	モルタル仕上げ VP塗り コンクリート下地				
		改修								空冷ヒートポンプエアコン設置 (設備工事)
	ホール	既存	モルタル仕上げ コンクリート下地		モルタル VP塗り	モルタル仕上げ VP塗り コンクリート下地				
		改修								空冷ヒートポンプエアコン設置 (設備工事)

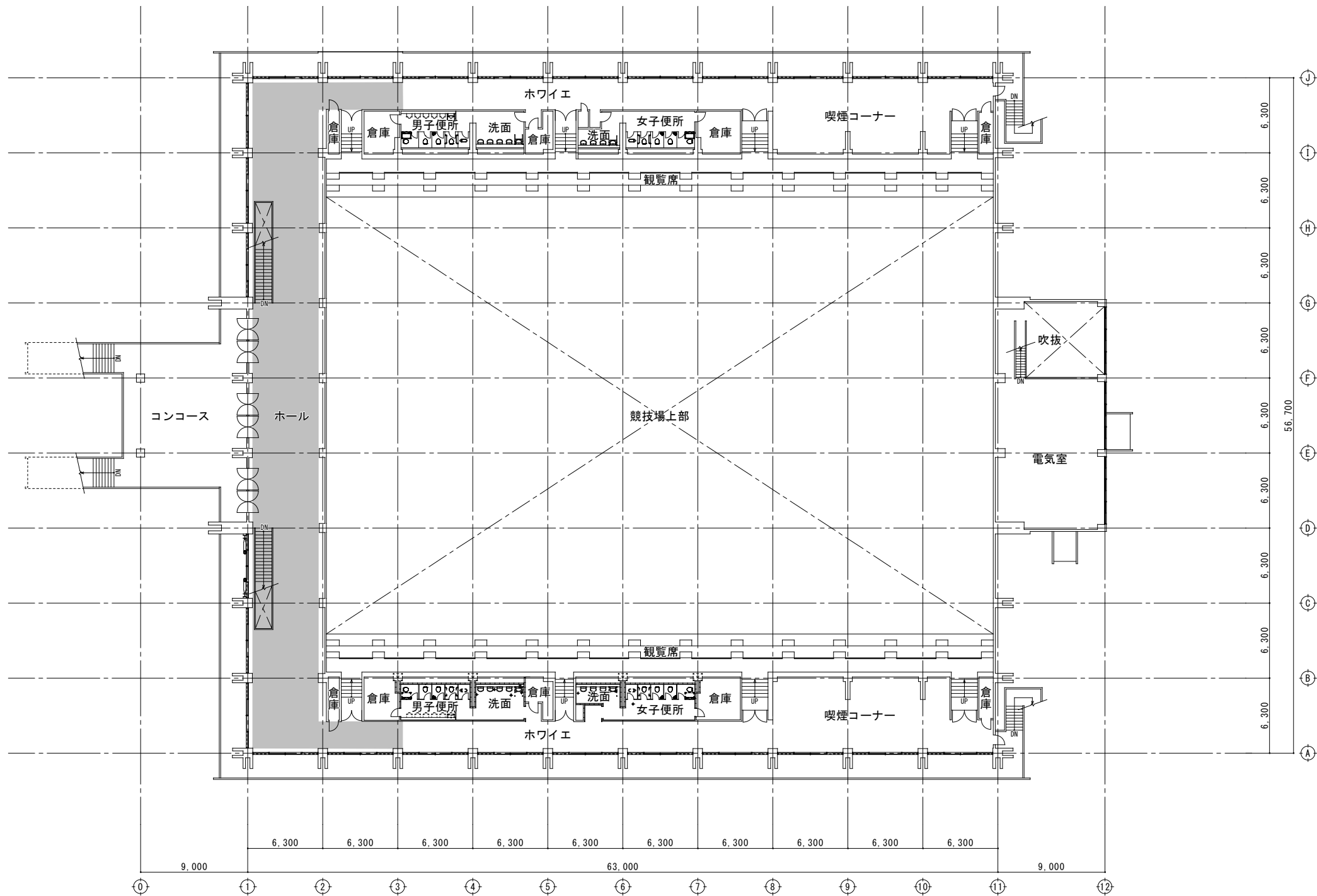
※  - アスベスト含有箇所



- 凡 例 特記なき限り既存のままとする。
- 新設
 - 養生範囲 (ブルーシート)

船橋市運動公園体育館空調設備設置工事			図面番号	
1階平面図			図面名	A - 15
船橋市都市整備部公園緑地課			令和 8 年度	(1 5 / 4 4)

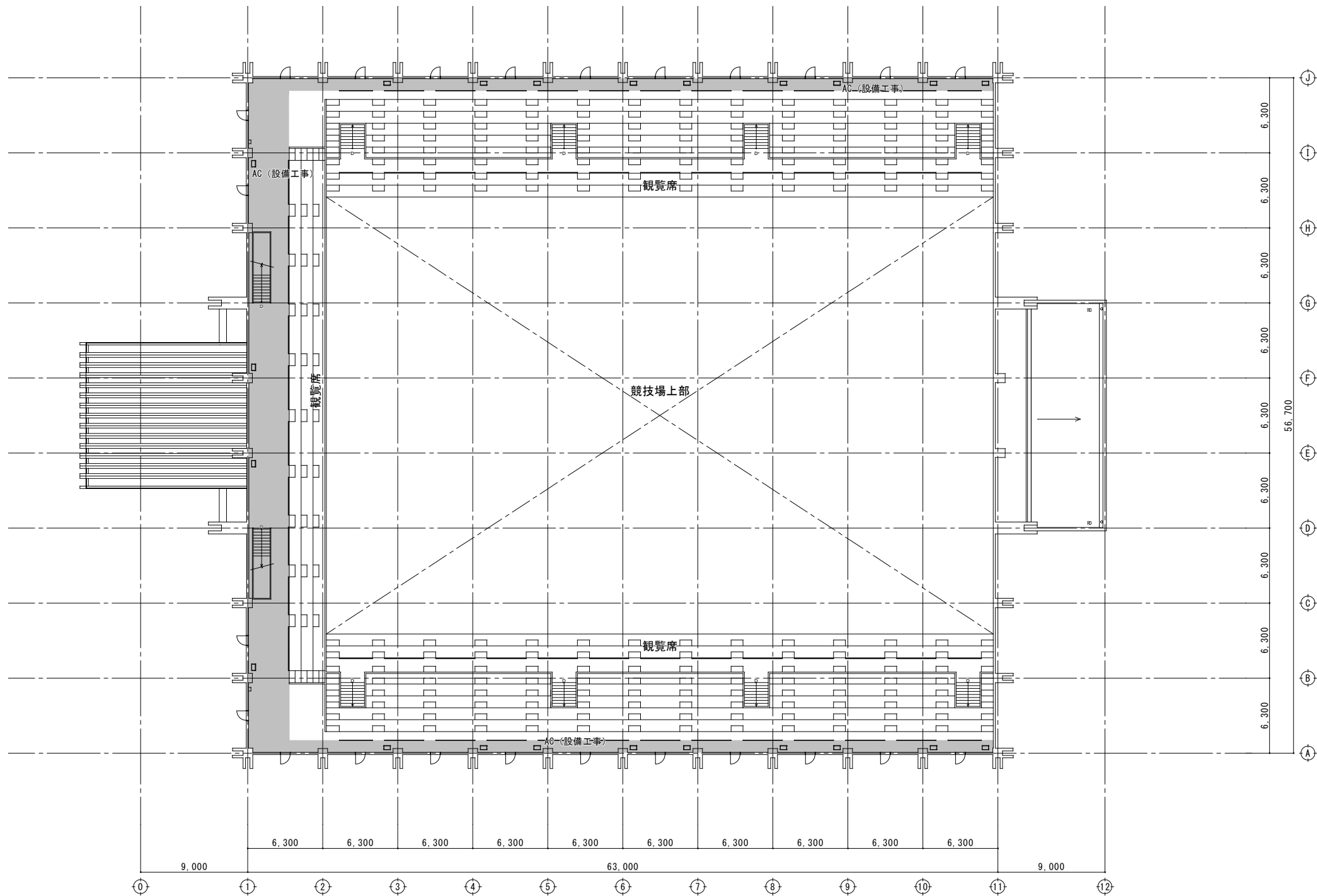
(有)川治邦夫建築設計事務所		一級建築士事務所登録 1-2203-2387 一級建築士大臣登録 第148925号 川治邦夫
----------------	--	---



凡 例 特記なき限り既存のままとする。

- ★ ー 新設
- ー 養生範囲 (ブルーシート)

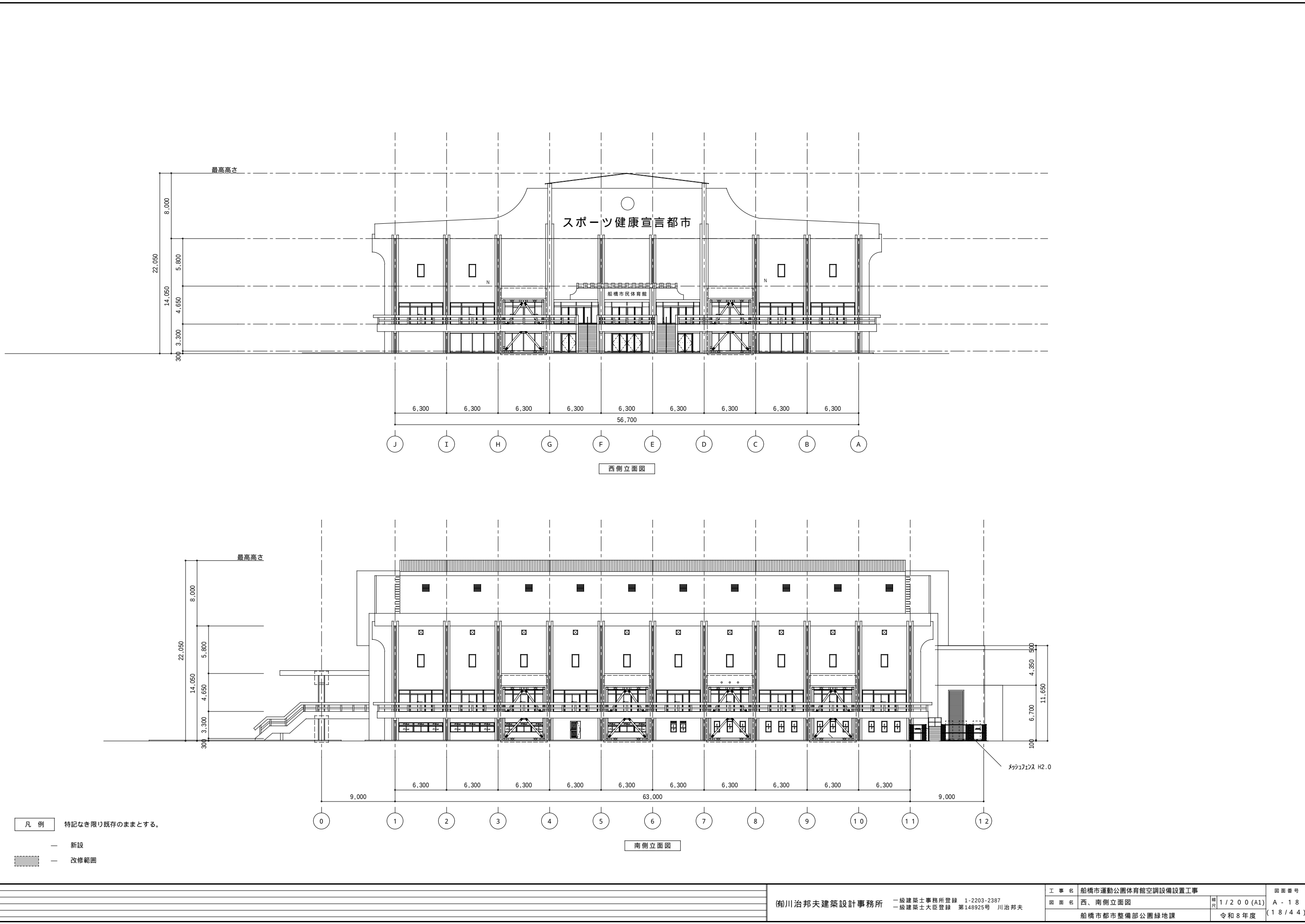
南川治邦夫建築設計事務所 一級建築士事務所登録 1-2203-2387 一級建築士大臣登録 第148925号 川治邦夫			工事名 船橋市運動公園体育館空調設備設置工事	図面番号 A-16
図面名 2階平面図			縮尺 1/200 (A1)	(16/44)
			船橋市都市整備部公園緑地課	令和8年度



凡 例 特記なき限り既存のままとする。

- ★ ー 新設
- ー 養生範囲 (ブルーシート)

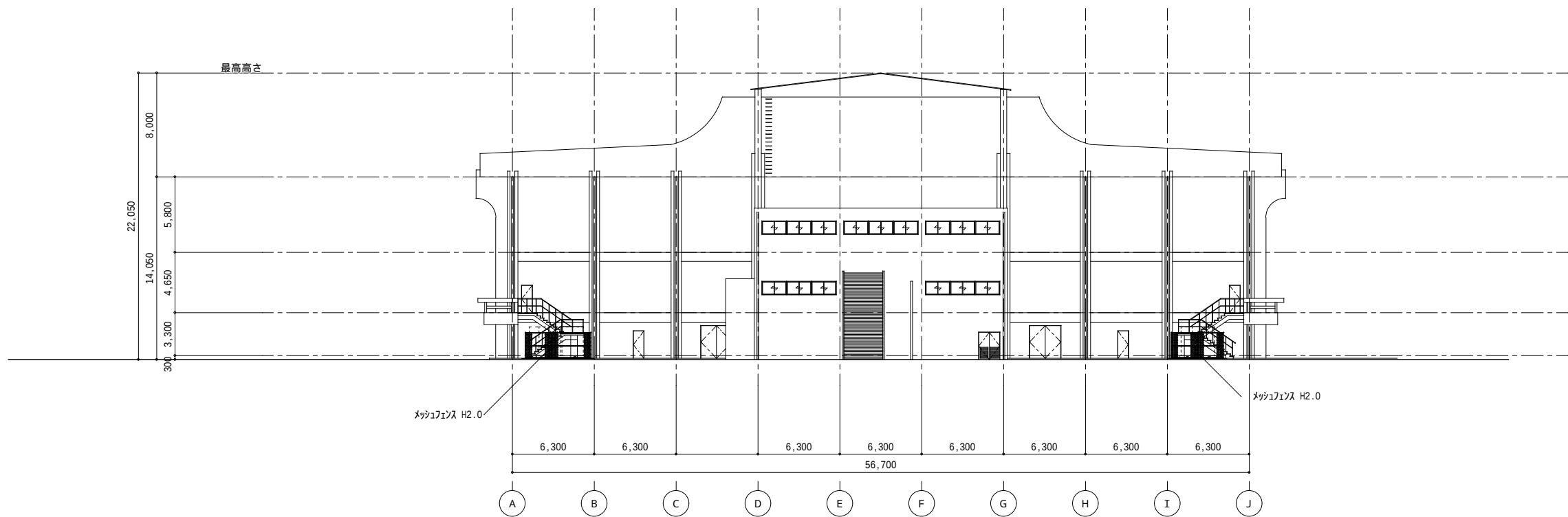
南川治邦夫建築設計事務所 一級建築士事務所登録 1-2203-2387 一級建築士大臣登録 第148925号 川治邦夫			工事名 船橋市運動公園体育館空調設備設置工事	図面番号 A-17
3階平面図			縮尺 1/200 (A1)	(17/44)
			船橋市都市整備部公園緑地課	令和8年度



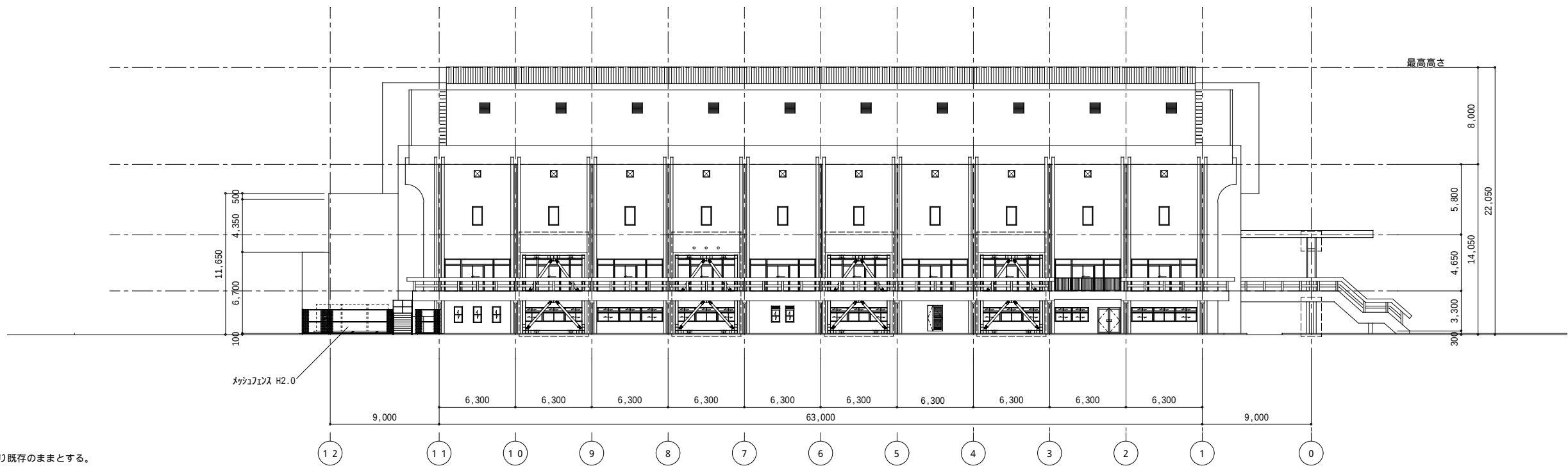
凡 例 特記なき限り既存のままとする。

- 新設
- 改修範囲

				（有）川治邦夫建築設計事務所		一級建築士事務所登録 1-2203-2387 一級建築士大臣登録 第148925号 川治邦夫	工事名 船橋市運動公園体育館空調設備設置工事	図面番号 A - 1 8
							図面名 西、南側立面図	縮尺 1 / 2 0 0 (A1)
							船橋市都市整備部公園緑地課	令和 8 年度 (1 8 / 4 4)



東側立面図

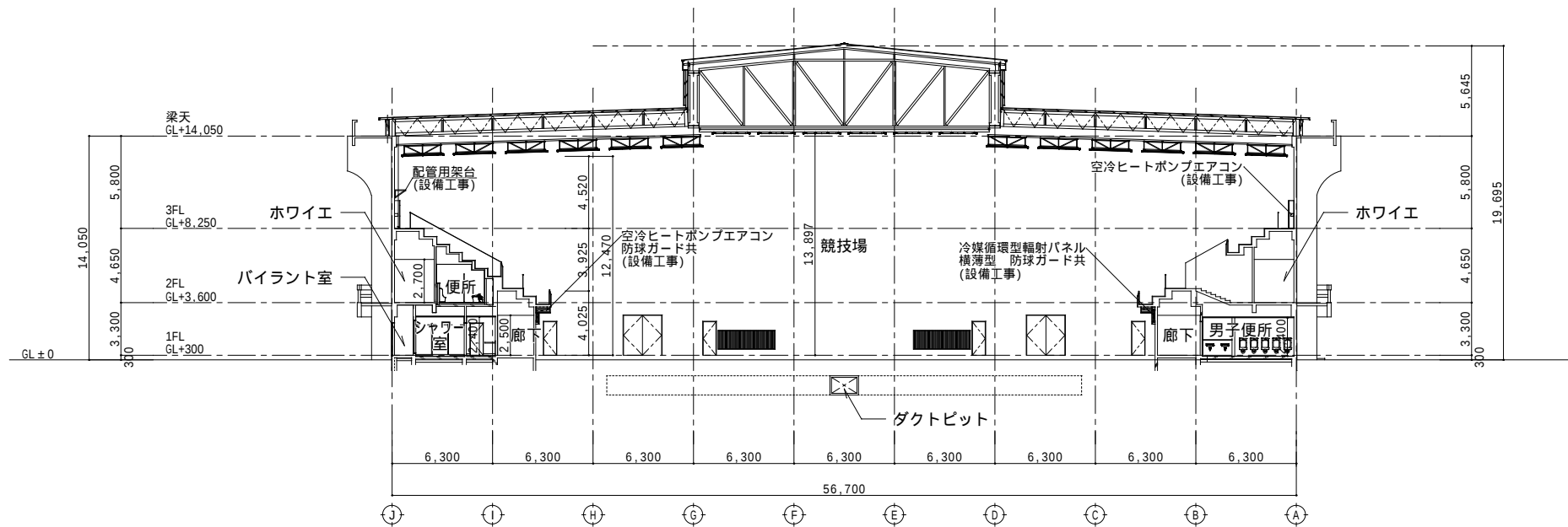


北側立面図

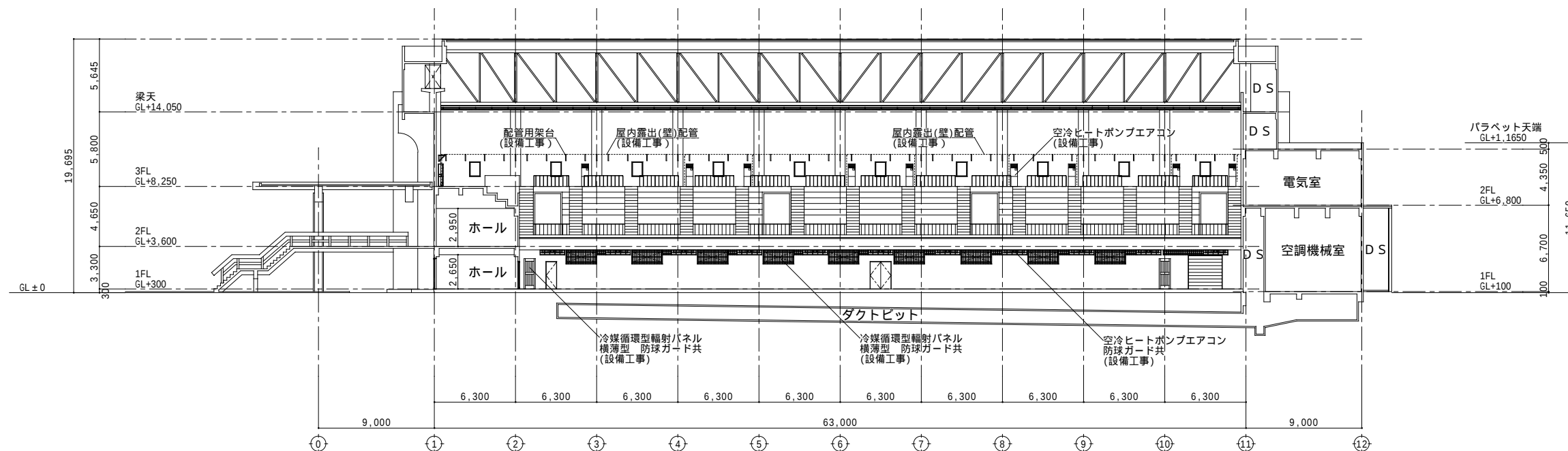
凡 例 特記なき限り既存のままとする。

- 新設
- 改修範囲

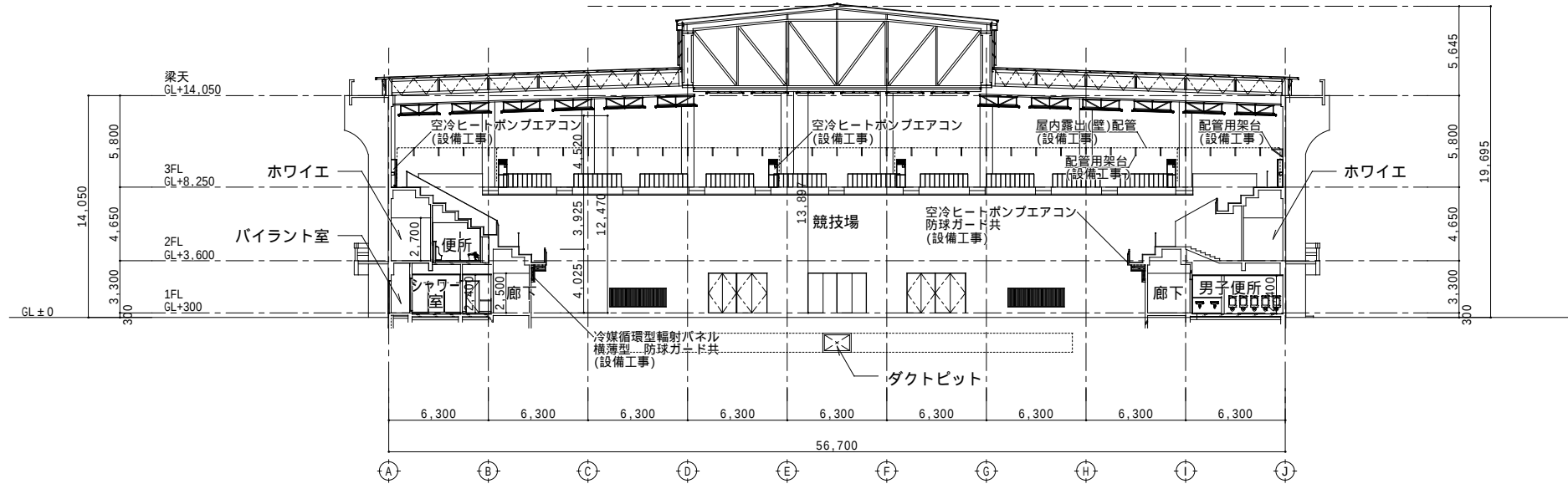
（有）川治邦夫建築設計事務所			一級建築士事務所登録 1-2203-2387 一級建築士大臣登録 第148925号 川治邦夫		工 事 名	船橋市運動公園体育館空調設備設置工事		図面番号
					図 面 名	東、北側立面図		A - 19
						船橋市都市整備部公園緑地課	令和 8 年度	(1 9 / 4 4)



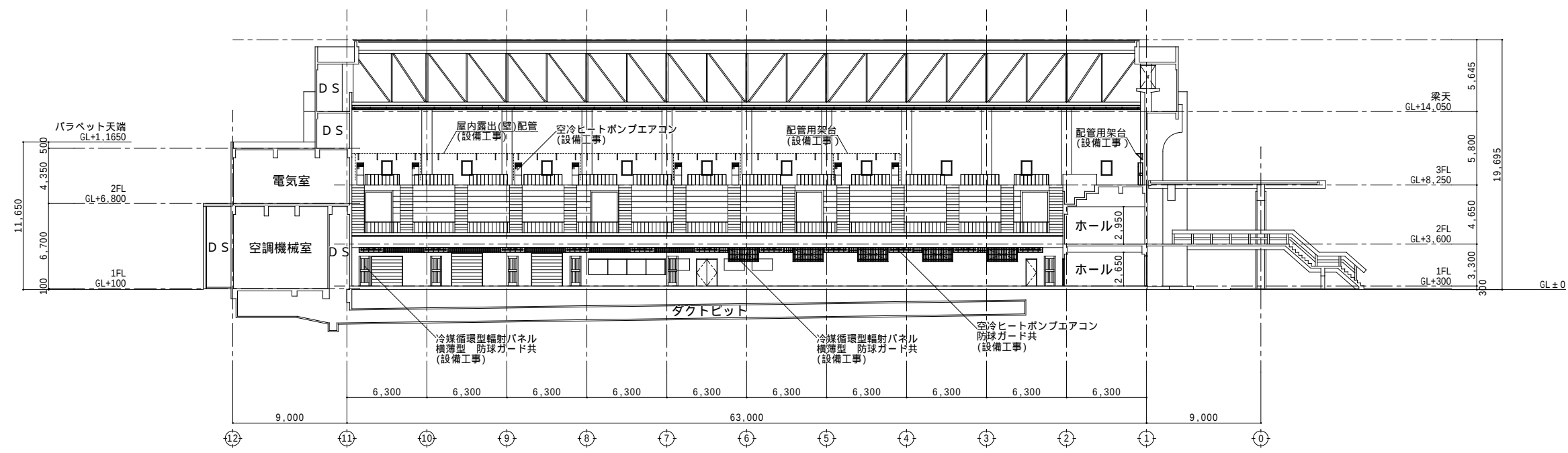
東面 断面・展開図



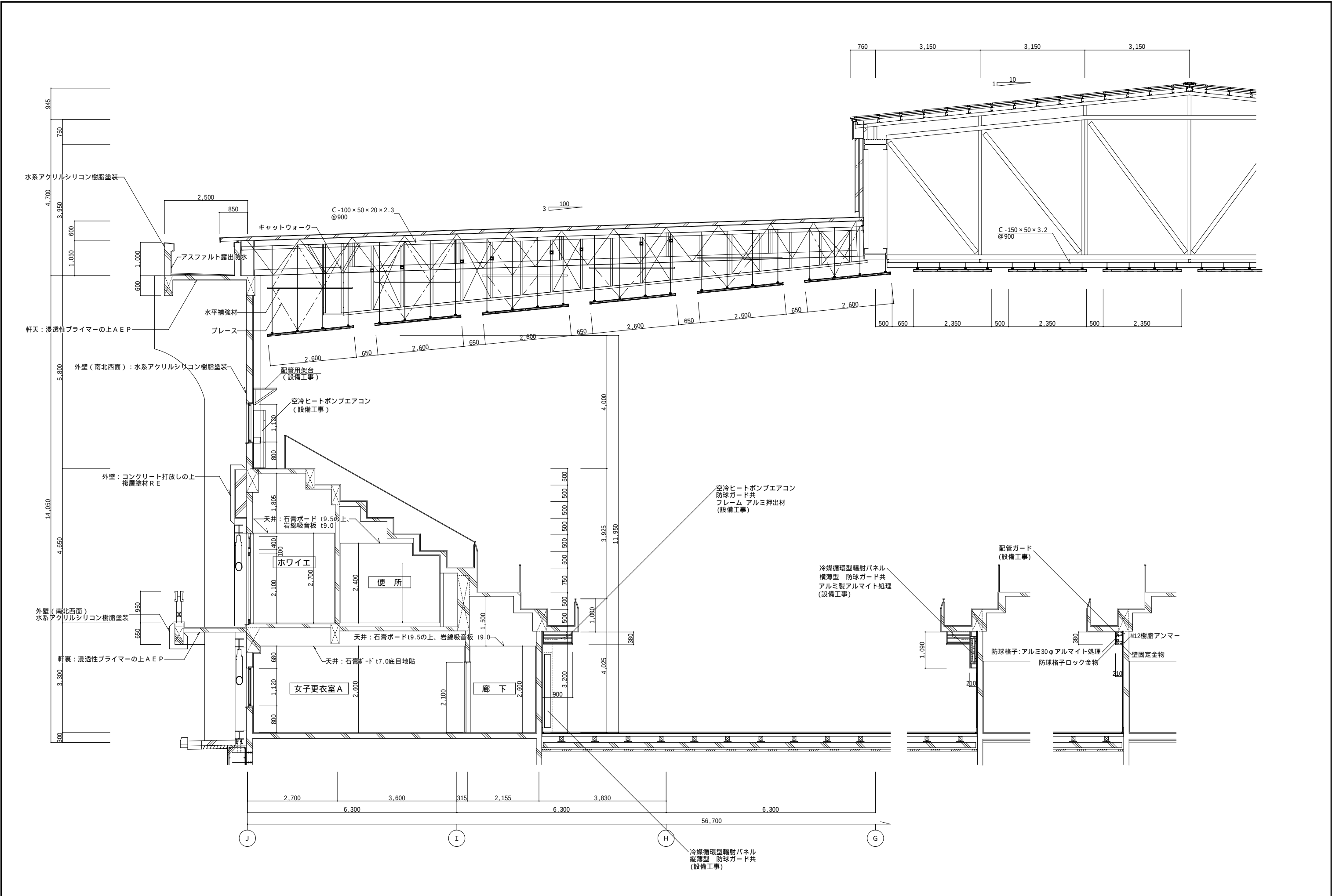
北面 断面・展開図



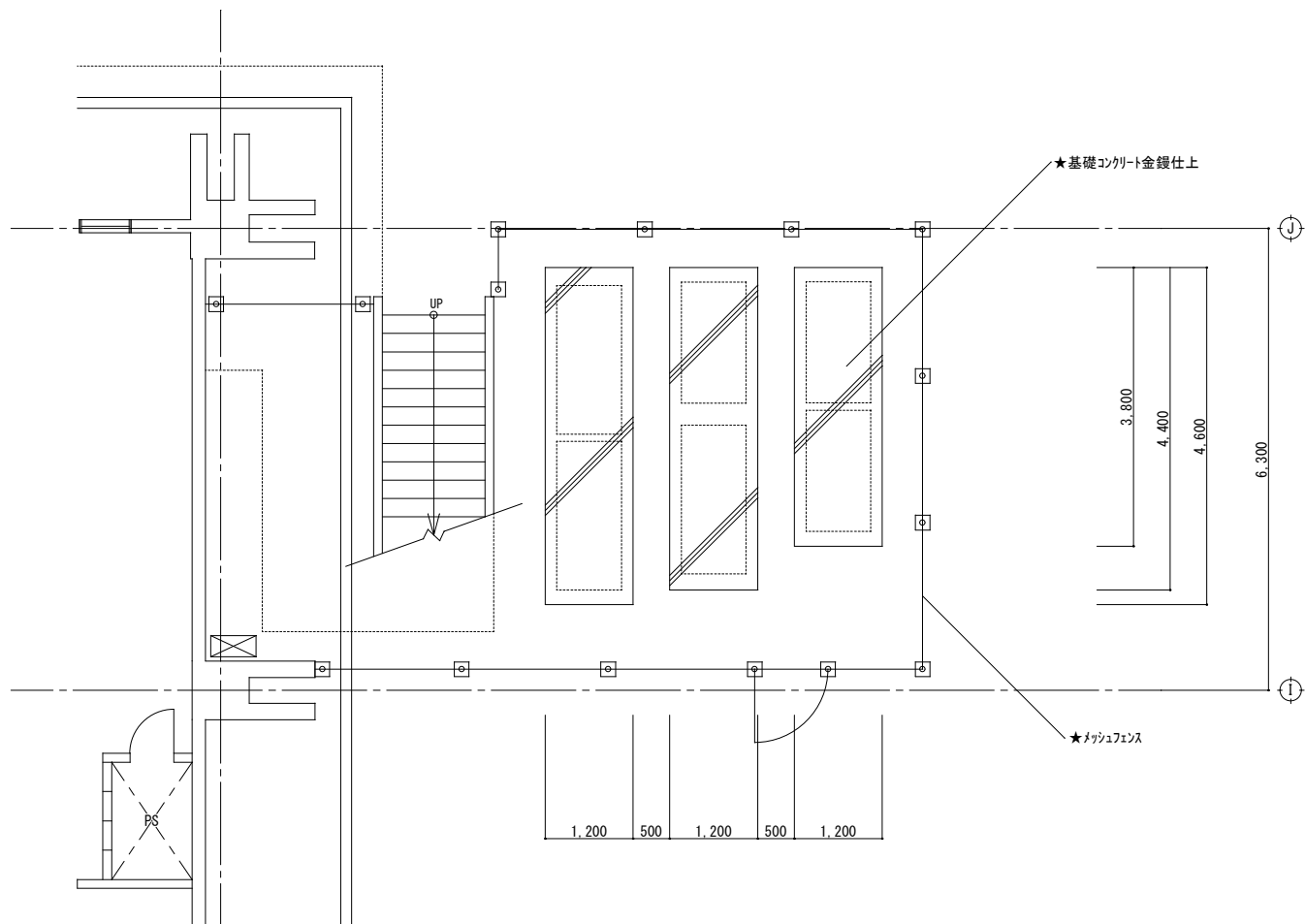
西面 断面・展開図



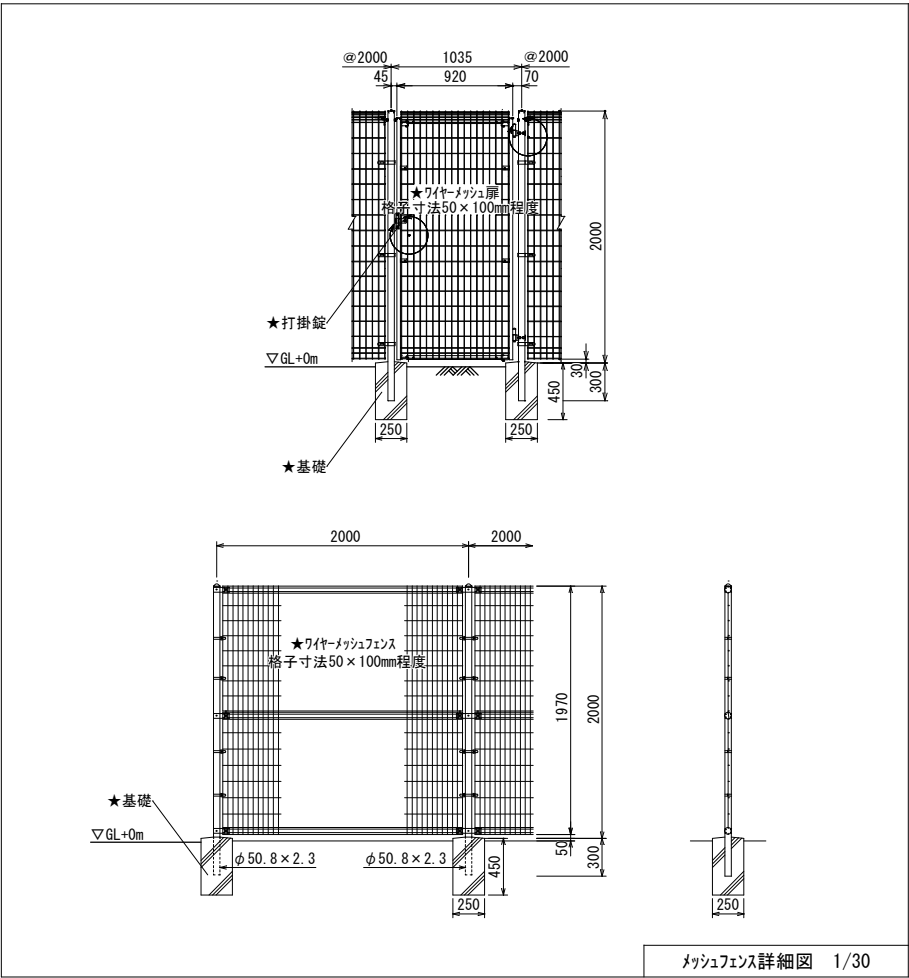
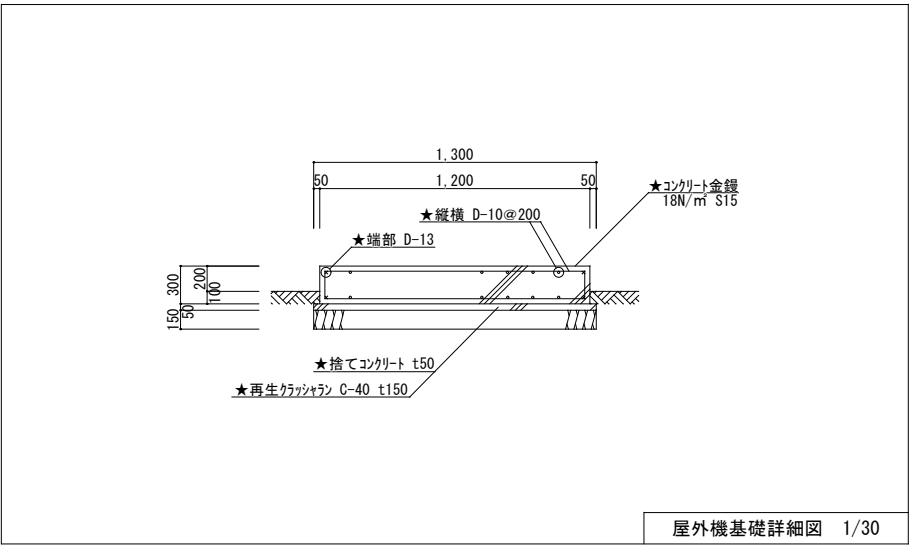
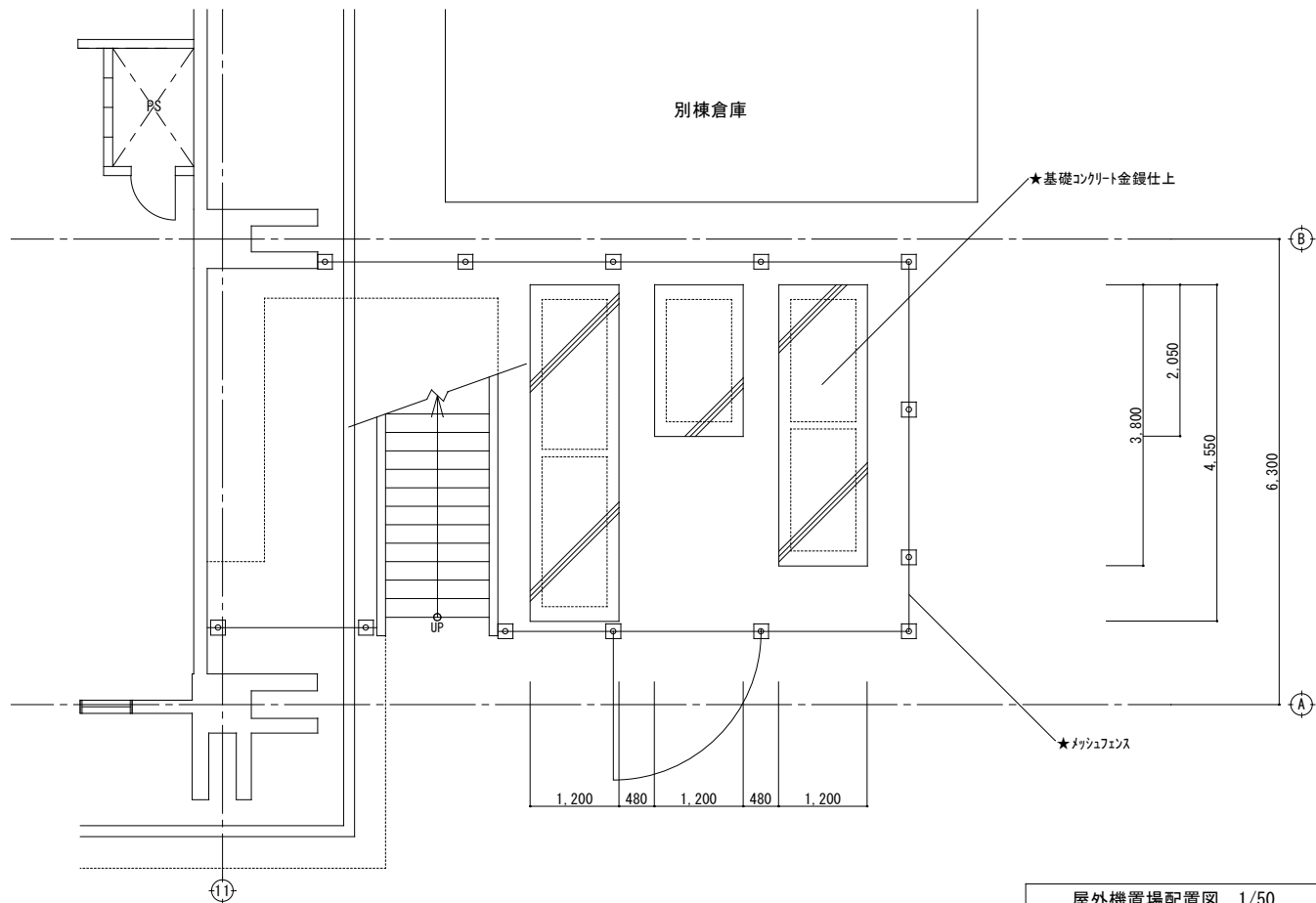
南面 断面・展開図



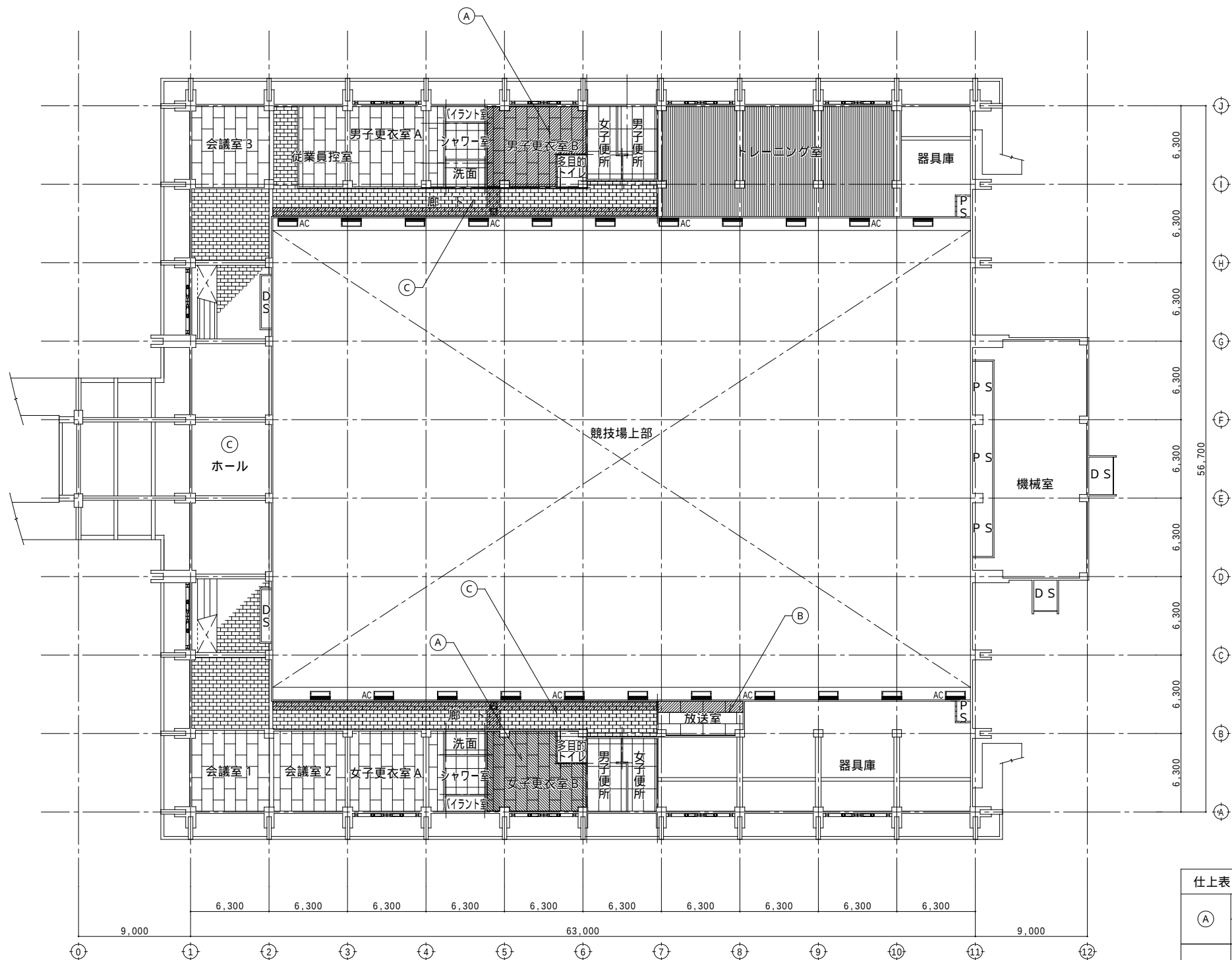
(有)川治邦夫建築設計事務所			一級建築士事務所登録 1-2203-2387 一級建築士大臣登録 第148925号 川治邦夫		工事名	船橋市運動公園体育館空調設備設置工事		図面番号
					図面名	断面詳細図(空調設置参考図)		A-22
					船橋市都市整備部公園緑地課	縮尺	1/50(A1)	(22/44)
						令和8年度		



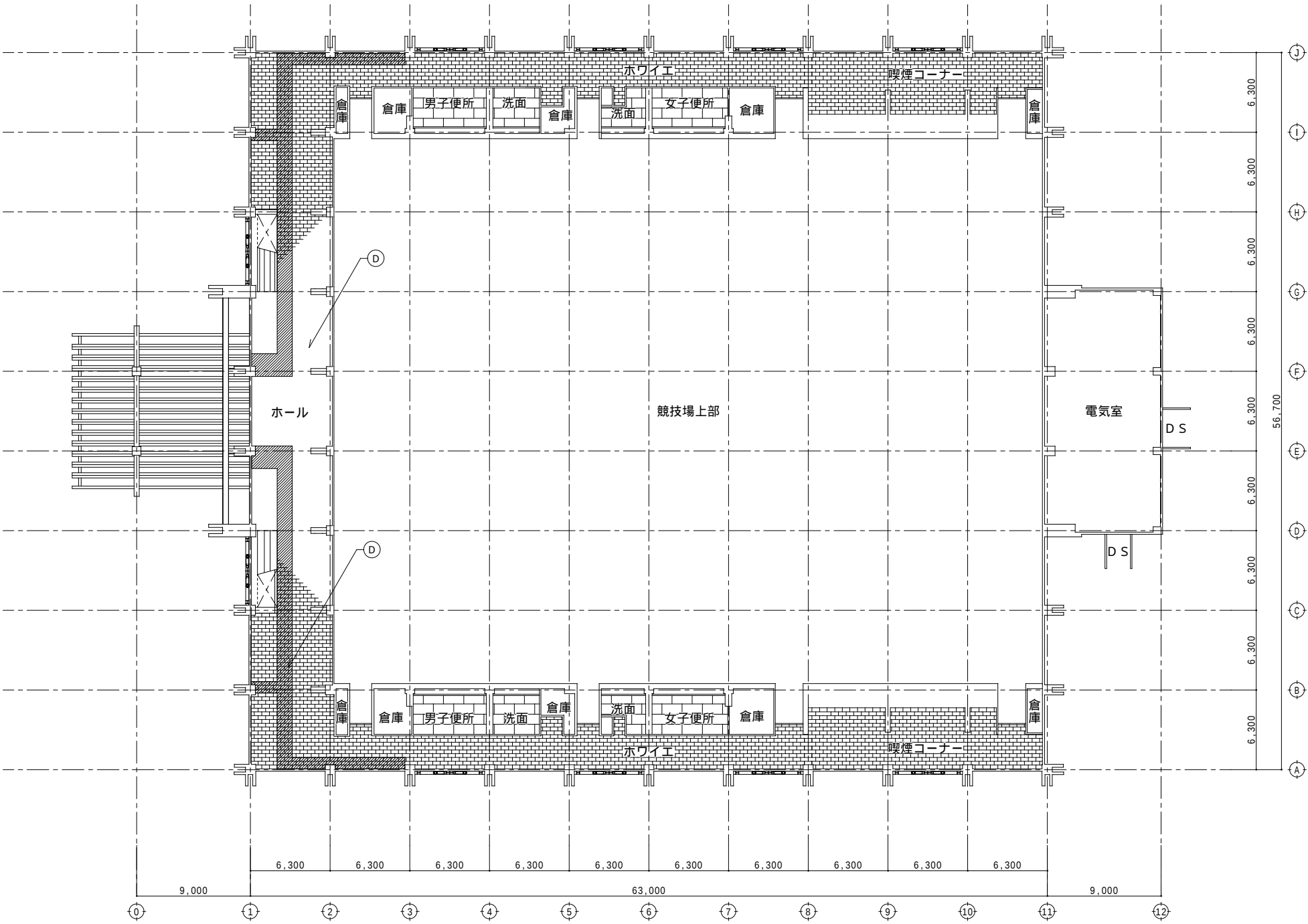
屋外機置場配置図 1/50



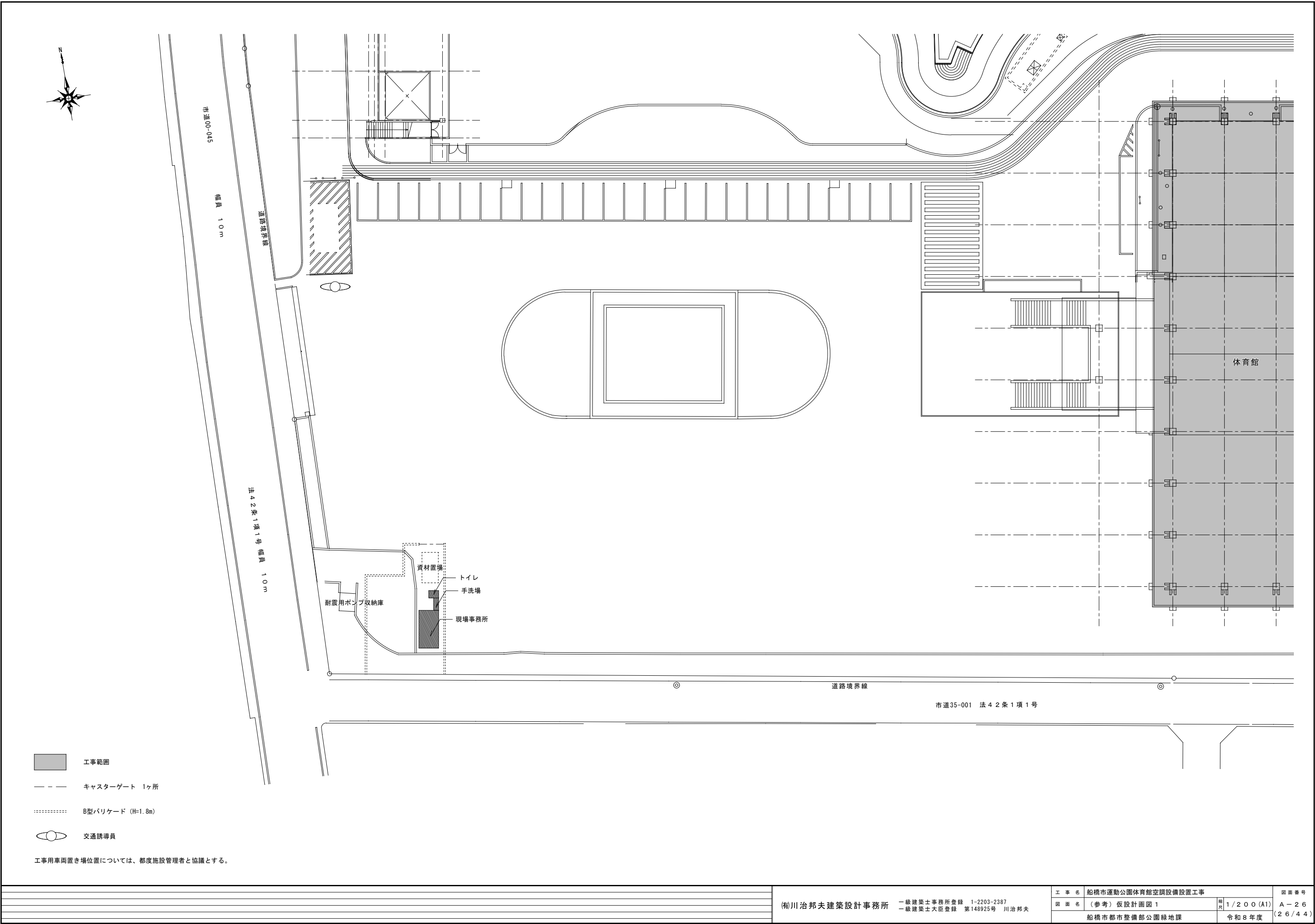
凡 例 特記なき限り既存のままとする。
★ 新設



仕上表		
A	石膏板・ド t7.0底目地貼り、巾材付吹付 72x72 寸含有【見込】	【一部撤去】
	化粧石膏板・ド t9.5	【一部新設】
B	石膏板・ド t7.0下地の上、岩綿吸音板 t12.0 72x72 寸含有【見込】	【一部撤去】
	石膏板・ド t9.5の上、077x077化粧吸音板 t9.0	【一部新設】
C	石膏板・ド t9.5の上、岩綿吸音板 t9.0 72x72 寸含有【見込】	【一部撤去】
	石膏板・ド t9.5の上、077x077化粧吸音板 t9.0	【一部新設】
特記事項		
天井：撤去・新設		
点検口：450×450		



仕上表		
D	石膏ボード t9.5の上、岩綿吸音板 t9.0 75x75x50 含有【見込】	【一部撤去】
	石膏ボード t9.5の上、ロックウール化粧吸音板 t9.0	【一部新設】
特記事項		
天井：撤去・新設		



市道00-045

幅員 10m

道路境界線

法42条1項1号 幅員 10m

耐震用ポンプ収納庫

資材置場

トイレ

手洗場

現場事務所

道路境界線

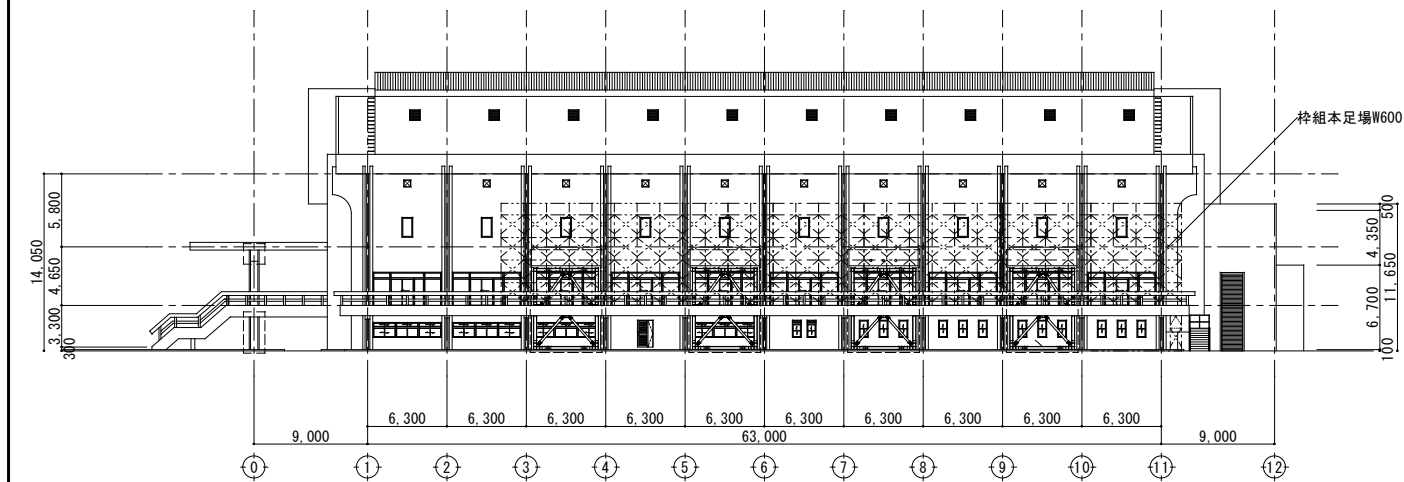
市道35-001 法42条1項1号

体育館

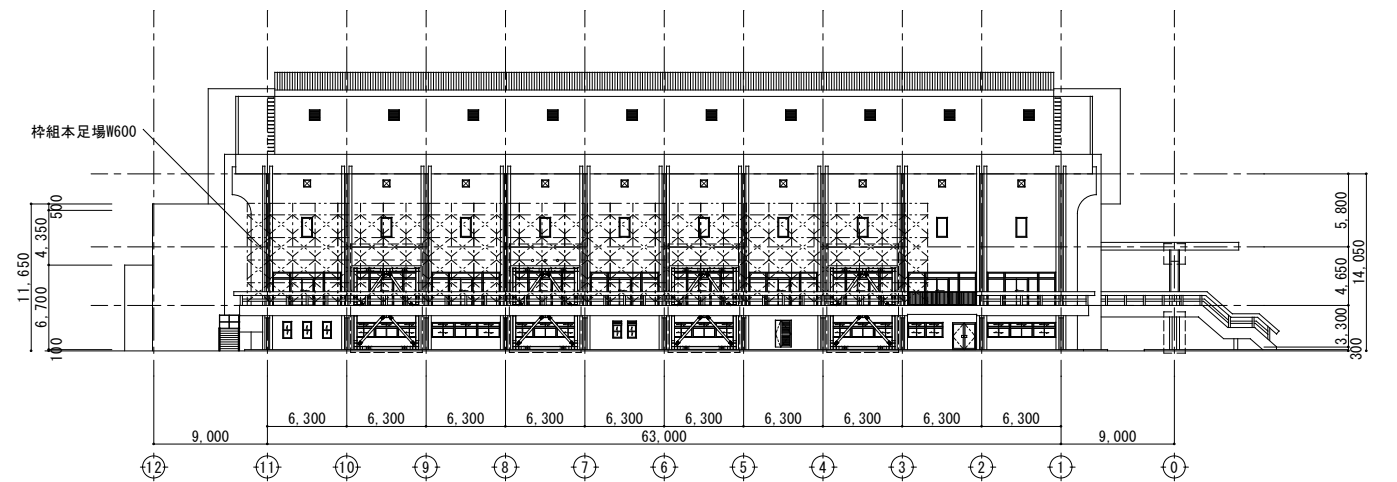
- 工事範囲
- キャスターゲート 1ヶ所
- B型バリケード (H=1.8m)
- 交通誘導員

工事用車両置き場位置については、都度施設管理者と協議とする。

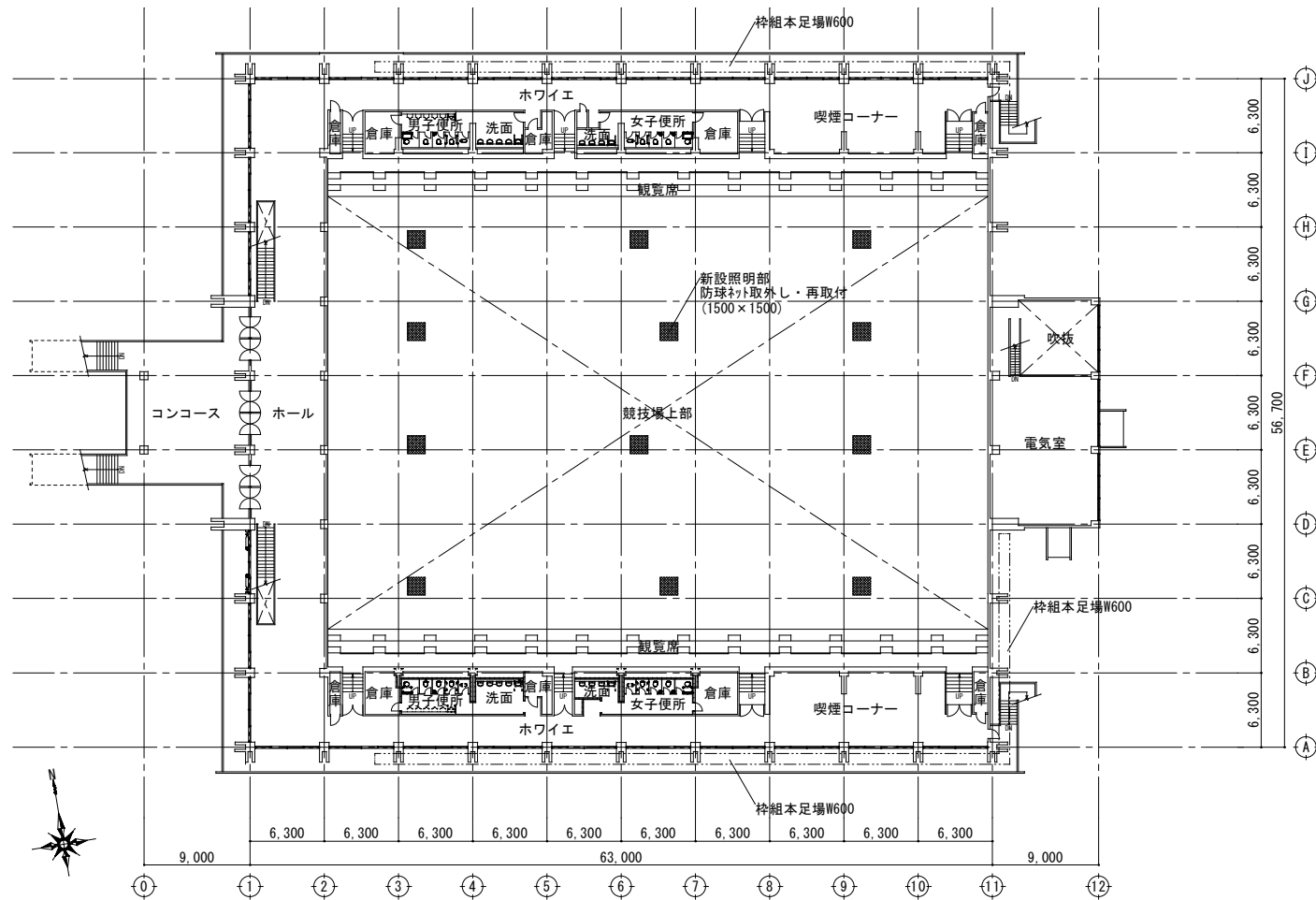
(有)川治邦夫建築設計事務所			一級建築士事務所登録 1-2203-2387 一級建築士大臣登録 第148925号 川治邦夫		工事名	船橋市運動公園体育館空調設備設置工事		図面番号
					図面名	(参考) 仮設計画図 1		図面番号
					船橋市都市整備部公園緑地課		令和8年度	26/44
					縮尺	1/200 (A1)		A-26



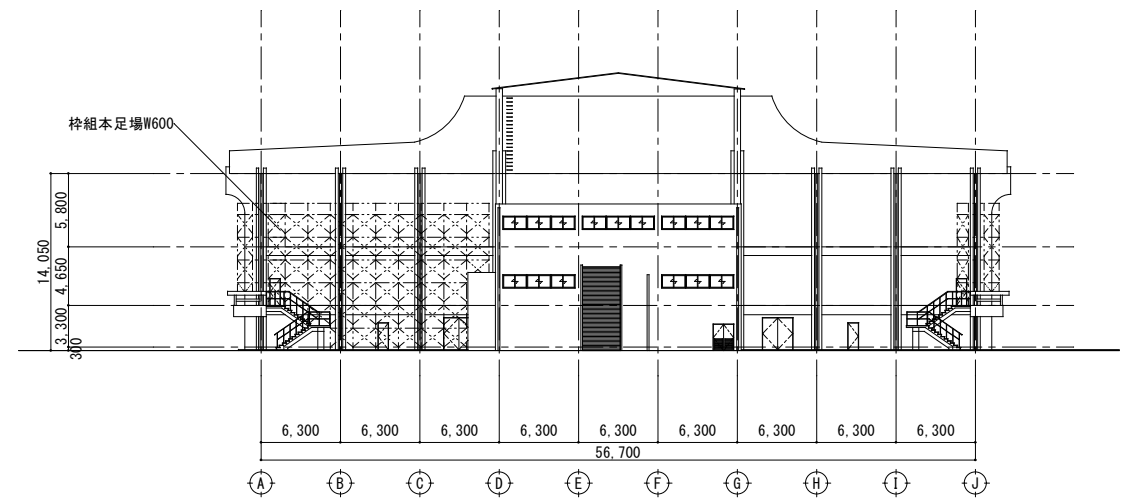
南側立面図



北側立面図



2階平面図



東側立面図

電気設備工事特記仕様書

電気設備工事特記仕様書

1. 共通仕様

図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の下記仕様書等のうち、●印の付いたものを適用する。

● 公共建築工事標準仕様書（令和7年版）（以下「標準仕様書」という。）

● 公共建築改修工事標準仕様書（令和7年版）（以下「改修標準仕様書」という。）

● 公共建築設備工事標準図（令和7年版）（以下「標準図」という。）

2. 特記仕様

章、項目及び特記事項共に、● 印の付いたものを適用し、○ 印のものは適用しない。

● 施工従事者

電気工物においては法令で定める電気工事士とする。
契約電力 500kW以上の電気工物においても、第一種電気工事士により施工を行うものとする。
差動式スポット型感知器及び煙型感知器（取外し・再取付）は、消防設備Ⅲ（甲種）により施工を行うものとする。

● 材料、機材の品質等

本工事に使用する材料等は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等のものとする。
ただし、同等のものとする場合は、監督職員の承認を受ける。同等とするものは、JIS・JAS・BL・評価名簿および標準仕様書に規定する方法で品質・性能が確認されたものとする。
標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、材料製造所の指定する工法とする。

○ 特別な材料の工法

標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、材料製造所の指定する工法とする。

● 官公署等への手続

工事に必要な官公署への手続きは受注者が代行し、速やかに行う。

○ 引渡しを要するもの

○ なし ○ あり（
特別管理産業廃棄物

○ なし ○ あり（PCB使用機器：
PCB使用機器は関係法令により適切に処理し、建物管理者に引き渡す。

○ グリーン購入法

「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」（以下「グリーン購入法」という）に規定される特定調達品目に該当する機材を使用する場合は、その判断の基準、配慮事項を満たすものとする。
ただし、特定調達品目の使用が困難な場合には、監督職員と協議するものとする。
○ 照明制御システム ○ 変圧器 ○ 太陽光発電システム

○ 安全対策

第三者及び工事関係者に対する安全対策は、すべてに優先する。

○ 建設発生土の処理

○ 埋め戻し後の建設発生土は、監督職員が指示する構内の場所に敷きならしとする。

○

○ 金属製露出管路（亜鉛メッキ面）の塗装

○ すべて下地処理（エッチングプライマー）の後、塗装（調合ペイント2回塗り）を行う。

○ 配線室以外の管路は、すべて下地処理（エッチングプライマー）の後、塗装（調合ペイント2回塗り）を行う。

● 厚銅電線管及び同附属品

電線管外面の仕上げは、● 溶融亜鉛メッキ（付着量300g/㎡以上）○ 製造者標準とする。
電線管内面の仕上げは、● 溶融亜鉛メッキ ○ 製造者標準とする。
電線管付属品は、● 上記と同等の防食性能を有する防水形 ○ 標準品 とする。

○ フロアープレートフロアーカバー

○ 樹脂製

○ アルミ合金製

○ ステンレス製

○ フラッシュプレート

○ 樹脂製

○ アルミ合金製

○ ステンレス製

○ 呼び線

長さ1m以上の入線しない管路には、1.2mm以上のビニール被覆鉄線を挿入する。

● 保温・結露防止

建築工事にてFP板（スタロホーム等）打ち込みの箇所に取付ける位置ボックス等は、保温、結露防止処理を行う。

● 合成樹脂製可とう電線管

合成樹脂製可とう電線管（PF）は、一重管とする。

● 屋外プルボックス

● 溶融亜鉛メッキ製（付着量300g/㎡以上） ○ ステンレス製 防水形とする。

● はつり

既存のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。

● 既存躯体への穿孔

穿孔機械を使用し、既存躯体に穿孔する場合は、金属探知等を行うこと。

● 再使用機器

取り外し再使用機器は、清掃および絶縁抵抗測定の実行を行う。
ただし、絶縁劣化等により再使用に耐えない場合は、監督職員に報告する。

● 耐震措置

設備機器の固定は、次に示す事項を除き「建築設備耐震設計・施工指針 2014年版」（独立行政法人建築研究所監修）による。

1）設計用水平地震力
機器の重量（kgf）に、設計用標準水平震度を乗じたものとする。
なお、特記なき場合、設計用標準水平震度は、次による。
設計用標準水平震度

設置場所	機器種別	● 特定の施設		○ 一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階（注1） 屋上及び塔屋	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	水槽類（※1）	2.0	1.5	1.5	1.0
中 間 階	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水槽類（※1）	1.5	1.0	1.0	0.6
地下階・1階	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水槽類（※1）	1.5	1.0	1.0	0.6

【備考】（※1）：水槽類には、オイルタンク等を含む。

（注1）重要機器は次による。

● 配電盤

○ 発電装置（防災用）

○ 直流電源装置

○ 交流無停電電源装置

○ 交換機

○ 自動火災報知器受信機

○ 非常業務放送装置

○ 中央監視制御装置

（注2）上層階の定義は次による。
6階建以下の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10階～12階建の場合は上層3層、13階建以上の場合は上層4階とする。

2）設計用鉛直地震力
設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。

改修する回路の絶縁抵抗は、比較のため工事の前後で測定すること。

● 施工の試験

○ 標準仕様書および改修標準仕様書によるほか、下記のを追加する。
● 一般照明明度測定 ○ 非常照明明度測定

○ 施工調査

事前調査

○ 本工事

○ 別途

調査項目

○ 既存資料調査

調査範囲

○ 図示

○ 図示

調査方法

○ はつり工事は、事前に埋設物調査を行い、監督職員に報告を行う。

● 電気方式

幹線 ● 単相3線式 200V/100V ○ 直流2線式 100V
分岐 ● 単相2線式 100V ○ 直流2線式 100V
● 単相2線式 200V

○ ハイテンションアウトレット

○ 外部固定式 ○ 内部固定式 ○ 回転形又は上下動形 ○ アップ形

○ 非常照明器具

○ 電池内蔵形 ○ 電池別置形

○ 配線器具

○ タンブラスイッチは ○ ワイド形 ○ 大角形
○ 壁付コンセントは（2口は複式で可） ○ ワイド形 ○ 大角形

○ 非常用の照明装置の照度測定箇所数

測定数：監督職員の指示による。

● 電気方式

幹線 ● 三相3線式 200V ○ 相線式 V
分岐 ● 三相3線式 200V ○ 相線式 V

● 機器への接続

本工事制御盤より別途電動機等への配線接続は ● 本工事 ○ 別途工事

● 電動機の接地

● 単独接地 ● 共同接地（● 共通母線式 ○ 金属管接地式）

● 電気方式

高圧 ● 三相3線式 6kV

低圧 ○ 三相3線式 200V ○ 三相線式 V
○ 単相3線式 200V/100V ○ 単相線式 V

● 主遮断機

● CB形（5サイクル以内） ○ PF-S形

● 設備容量

変圧器総容量 450 kVA（うち本工事に係るもの kVA）

● 進相コンデンサ

○ 高圧 kVar ○ 低圧 自動力率制御（○ あり ○ なし）

● 配電盤

● 屋内形 ○ 屋外形

○ 絶縁ゴムマット

W1000×10t×L

● その他

1）変圧器は ● 油入形 ○ モールド形 変圧器とする。

2）高圧交流負荷開閉器（LBS）はストライカ式とする。

3）変圧器のB種接地線には、漏電警報器（ELR）を設置する。

4）DS・LBS等の充電部が露出する機器には、十分な強度を有する透明アクリル板保護扉を設ける。

● 電気方式

高圧 ○ 三相3線式 6kV

低圧 ● 三相3線式 200V ○ 三相線式 V
● 単相3線式 200V/100V ● 単相2線式 100V
○ 単相線式 V

● 電線方式

● 地中線式 ○ 架空線式

○ 地中線路の余長

マンホール、ハンドホール内で各系統2箇所以上（1巻程度）ケーブルの余長を設ける。

● 地中管の材質

○ 厚鋼電線管（防食テープ1/2重ね2回巻き、4層）

● 波付硬質ポリエチレン管

○ 防水錆鉄管

※防食テープはJIS Z-1901を使用し、地上立ち上がり部分は6L+300mmまでテープ巻きを行う。

○ 装柱機材

○ 耐塩形（ケーブル端末処理材共） ○ 耐重塩形

○ 外灯接地

○ 1基毎単独 ○ 共用（ケーブル1芯使用）

○ 区分閉閉器等

1) 架空引込 高圧気中負荷開閉器（PAS）、（SOG+DGR）付収納箱（ステンレス製）

2) 地中引込 地中線用高圧ガス負荷開閉器（UGS）（SOG+DGR）付

○ その他

地中線には、ケーブル埋設標及び埋設標識シート（高圧は管理者名入り）を設ける。
埋設標 ○ 鉄製 ○ コンクリート製
標識シート ○ 6L-300 ○ 2倍折り

○ 配線方式

○ 地中線式 ○ 架空線式

○ 地中線路の余長

マンホール、ハンドホール内で各系統2箇所以上（1巻程度）ケーブルの余長を設ける。

○ 地中管の材質

○ 厚鋼電線管（防食テープ1/2重ね2回巻き、4層）

○ 波付硬質ポリエチレン管

○ 防水錆鉄管

※防食テープはJIS Z-1901を使用し、地上立ち上がり部分は6L+300mmまでテープ巻きを行う。

○ その他

地中線には、ケーブル埋設標及び埋設標識シートを設ける。
埋設標 ○ 鉄製 ○ コンクリート製
標識シート ○ 6L-300 ○ 2倍折り

○ 接地極

接地極の材料は原則として下記による。
なお、接地棒EB（14φ）の長さは1,500mm以上とする。設置棒EB（10φ）はW=30mm、L=900mm（測定用はL=1,000mm）、設置棒EB（14φ）はW=40mm、L=1,200mmとしても差し支えない。

接地の種類	記号	接地抵抗値	接 地 極
○ 共同接地	E A D	10Ω以下	EB（14φ） × 3連－2組
○ 共同接地	E A C D	10Ω以下	EB（14φ） × 3連－2組
○ A種接地	E A	10Ω以下	EB（14φ） × 3連－2組
○ B種接地	E B	150/1Ω以下※	EB（14φ） × 3連－1組
○ C種接地	E C	10Ω以下	EB（14φ） × 3連－2組
○ D種接地	E D	100Ω以下	EB（10φ） × 1（L=1,000mm）
○ D種接地	E D（ELB）	100Ω以下	EB（10φ） × 1（L=1,000mm）
○ 高圧避雷器用	E LA	10Ω以下	EB（14φ） × 3連－2組
○ 交換装置用	E t	10Ω以下	EB（14φ） × 3連－2組
○ 通信用（10Ω）	E At	10Ω以下	EB（14φ） × 3連－2組
○ 通信用（100Ω）	E Dt	100Ω以下	EB（10φ） × 1（L=1,000mm）
○ 電話引込口の保安器用	E Lt	100Ω以下	EB（10φ） × 1（L=1,000mm）
○ 測定用	E Q	－	EB（10φ） × 1（L=1,000mm）
			又は（L=900mm、W=30mm）

※ 接地抵抗値は、電気事業者と協議のうえ決定すること。

図面に記載のなき場合、機器の取付高さは原則として下記による。

名 称	測 点	取付高（mm）
ブラケット（一般）	床面～中心	2,100
“ ”（蹴場）	“ ”	2,500
“ ”（鏡上）	鏡上端～中心	150
避難口誘導灯	床面～下端	1,500以上
廊下通路誘導灯	床面～上端	1,000以下
スイッチ（一般）	床面～中心	1,300
“ ”（バリアフリースイ）	“ ”	1,100
コンセント、電話用アウトレット、テレビ端子（一般）	“ ”	300
“ ”（和室）	“ ”	150
“ ”（台上）	台上～中心	150
コンセント（車庫）	床面～中心	800～1,300
コンセント（車椅子用）	“ ”	900
取引用計器	地上～窓中心	1,800～2,000
引込開閉器箱（低圧）	地上～中心	1,800～2,200
分電盤、OA盤、制御盤、実験盤	床面～中心	1,500
開閉器箱	“ ”	1,500（上端1,900以下）
電磁開閉器用押しボタン	“ ”	1,300
接地用端子箱	地上、床面～中心	500
雷保護用接地端子箱	床面～下端	800
接地極埋設機	地上～中心	600
給油ボックス（壁掛形）	地上～給油口	1,000
端子盤（EPS・電気室）	床面～中心	1,500
壁付電話機	“ ”	1,300
腕時計	“ ”	1,500
子時計・スピーカ	“ ”	（天井高）×0.9
アッテネータ	“ ”	1,300
出退表示盤	“ ”	（天井高）×0.9
発信器（出退表示用）	“ ”	1,300
インターホン	“ ”	1,300
外部受付用インターホン子機	“ ”	「標準図」による
呼出ボタン（バリアフリースイ）	“ ”	900、（400）
復帰ボタン（バリアフリースイ）	“ ”	1,300
廊下表示灯（バリアフリースイ）	“ ”	2,000
テレビ機器収容箱（EPS）	“ ”	1,800
入退室管理装置（カードリーダー、暗証番号入力装置、バイオメトリクス照合装置）	“ ”	1,300
火報受信機（複合盤）、副受信機	床面～操作部	800～1,500
機器収容箱	“ ”	800～1,500
発信機	“ ”	800～1,500
警報ベル	“ ”	（天井高）×0.9
表示灯	“ ”	（天井高）×0.8
連動制御器	“ ”	1,500
自動閉鎖装置（防火戸用）	床面～中心	1,500
ガス漏れ検知器（液化石油ガス）	“ ”	300
“ ”（都市ガス）	天井面～中心	（天井面）-200（壁面取付の場合）

（備考）（天井高）×0.9及び（天井高）×0.8は天井高が2,500～3,000mmの場合に適用する。
注）天井高3,000mm以上の場合及び上記取付高さでは機器の使用に支障がある場合は、監督職員と協議する。
呼出ボタン（バリアフリースイ）の取付高さ（400）は床に転倒した時を考慮した高さを示す。

工 事 名

船橋市運動公園体育館空調設備設置工事

図 面 名

電気設備工事特記仕様書

船橋市都市整備部公園緑地課

令 和 8 年 度

一級建築士事務所登録 1-1703-2387

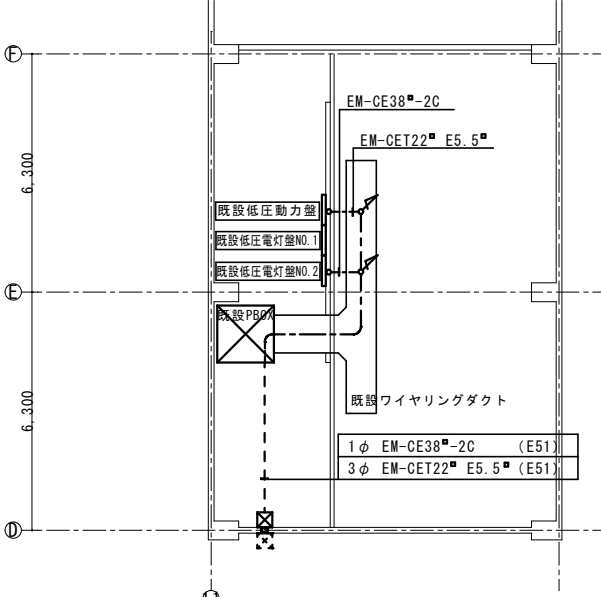
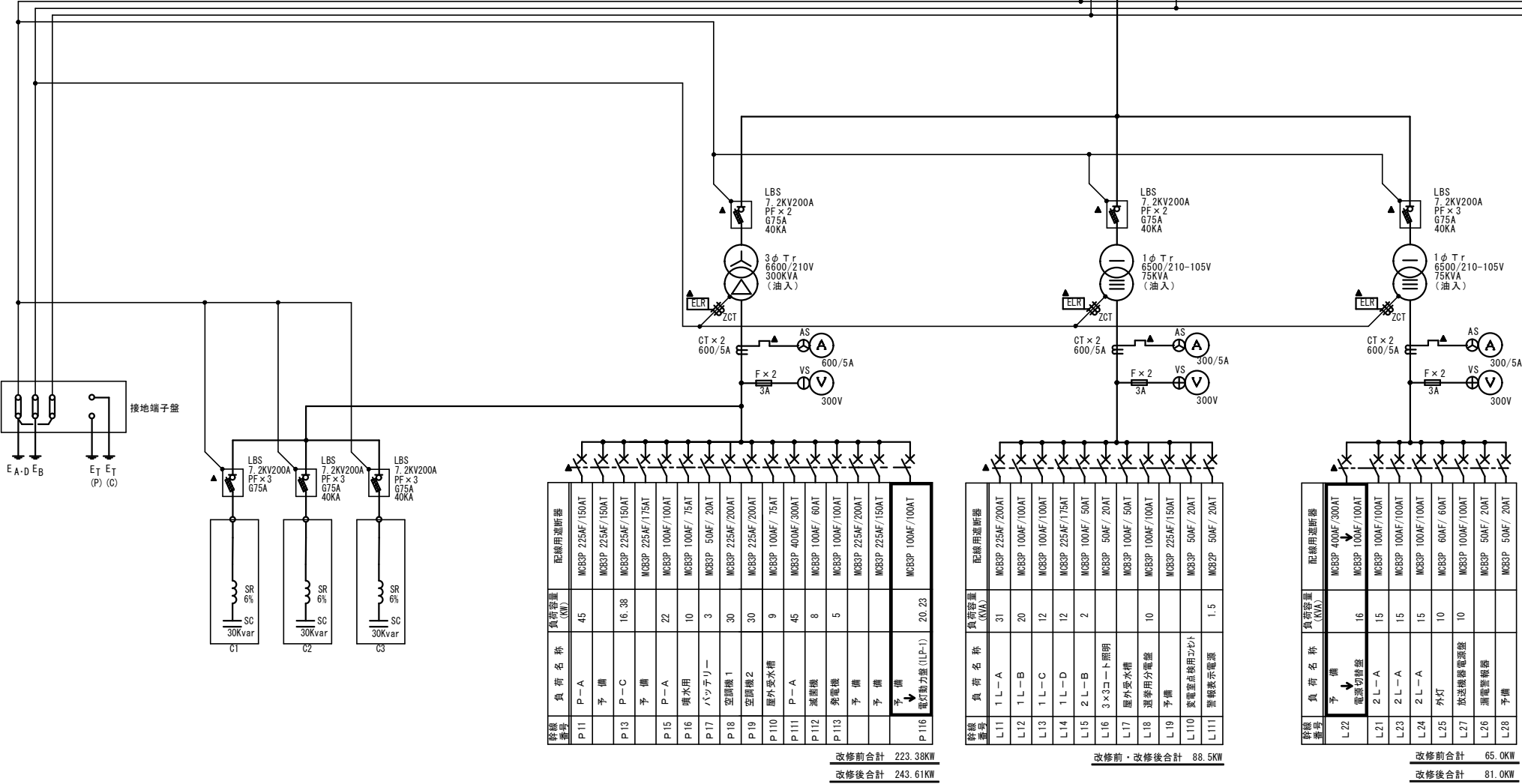
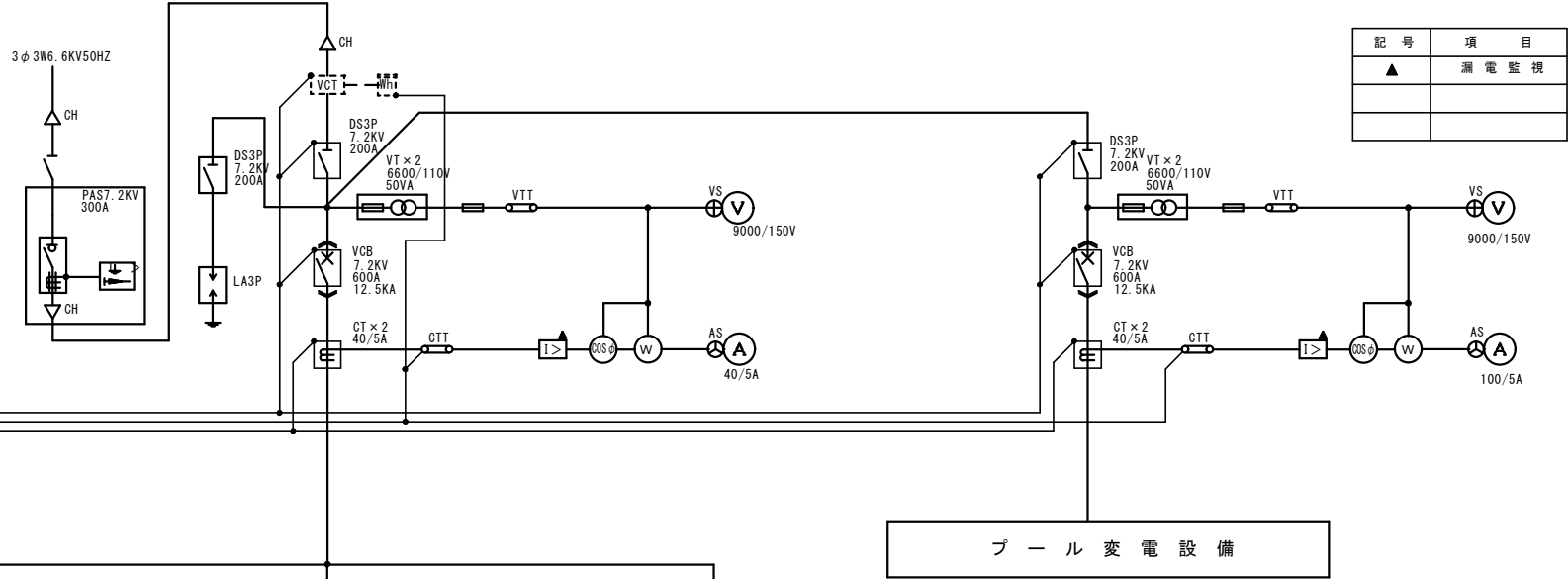
一級建築士大臣登録 第148925号 川治邦夫

図面番号

E-01

（29/44）

記 号	名 称	備 考	記 号	名 称	備 考
VCT	取引計器用変圧器	電力会社工事		方向性地絡継電器	
CH	ケーブルヘッド			過電流継電器	
DS	断路器			不足電圧継電器	
VCB	真空遮断器			漏電継電器	
LBS	高圧負荷開閉器	P F 付		自動力率調整装置	
TR	変圧器	油入			
PF	電力ヒューズ				
VCS	真空電磁接触器		V	電圧計	
SR	直列リアクトル		A	電流計	
SC	進相コンデンサ		W	電力計	
ZCT	零相変流器		Var	無効電力計	
ZPC	零相電圧検出器		COSφ	力率計	
PT	計器用変圧器				
CT	計器用変流器				
MCCB	配線用遮断器				



既設受変電設備 結線図

体育館 2 階 電気室平面図 S=1/100

- 注 記
- 特記なきブルボックスは下記とする。
- ☒ 300×300×200 鋼板製（接地端子付・塗装共）

電 灯・動 力 盤 負 荷 表

盤名称	電気方式 幹線番号	結 線	機 器 仕 様							結線図番号		分岐開閉器		電流計 (A)	連動インターロック	監 視											配線サイズ	備 考
			機器番号	機 器 名 称	単 位 容量 (KW)	台数	合 計 容量 (KW)	相	電 圧 (v)	主回路	制御回路	M C B	E L B			G L	R L	O L	発停	H L	L L	計測	一括 警報	故障				
1 L P - 1 銅板製 壁掛防水型	3φ3W 200V			電 源 切 替 盤 (GHP-3・GHP-3')	2.66	1	2.66	3	200	A			3P 50/30												EM-CE3.5 [■] -3C E2.0 (G28)			
			G H P - 4	空 調 屋 外 機	1.51	1	1.51	3	200	A			3P 50/30													EM-CE3.5 [■] -3C E2.0 (G28)		
			G H P - 6	空 調 屋 外 機	1.24	1	1.24	3	200	A			3P 50/30													EM-CE3.5 [■] -3C E2.0 (G28)		
			G H P - 6	空 調 屋 外 機	1.24	1	1.24	3	200	A			3P 50/30														EM-CE3.5 [■] -3C E2.0 (G28)	
			G H P - 4 - 1	空 調 屋 内 機	0.117	5	0.585	1	200	A			2P 50/20															
			G H P - 6 - 1	空 調 屋 内 機	0.18	8	1.44	1	200	A			2P 50/20															
				合 計			8.675																					
			1 L P - 2 銅板製 壁掛防水型	3φ3W 200V			電 源 切 替 盤 (GHP-1・GHP-1')	2.66	1	2.66	3	200	A			3P 50/30												EM-CE3.5 [■] -3C E2.0 (G28)
G H P - 2	空 調 屋 外 機	1.51				1	1.51	3	200	A			3P 50/30													EM-CE3.5 [■] -3C E2.0 (G28)		
G H P - 5	空 調 屋 外 機	1.24				1	1.24	3	200	A			3P 50/30													EM-CE3.5 [■] -3C E2.0 (G28)		
G H P - 5	空 調 屋 外 機	1.24				1	1.24	3	200	A			3P 50/30													EM-CE3.5 [■] -3C E2.0 (G28)		
G H P - 7	空 調 屋 外 機	1.8				1	1.8	3	200	A			3P 50/40													EM-CE3.5 [■] -3C E2.0 (G28)		
G H P - 2 - 1	空 調 屋 内 機	0.117				5	0.585	1	200	A			2P 50/20															
G H P - 5 - 1	空 調 屋 内 機	0.18				8	1.44	1	200	A			2P 50/20															
G H P - 7 - 1	空 調 屋 内 機	0.18				6	1.08	1	200	A			2P 50/20															
	合 計						11.555																					

主 回 路 結 線 図

L 1 単独運転 (直入始動)

Y 1 単独運転 (△-△始動)

L 2 交互運転 (直入始動)

A 電源送り回路

B 制御用操作電源

C 制御用操作電源

制 御 回 路 結 線 図

1 手 動

2 手動-遠方

3 手動-自動

警 報 盤 結 線 図 ・ 姿 図

① 芯数 10芯
② 形式 壁掛型
③ 電源装置 入力電圧 AC100V 50Hz
操作電圧 DC24V
蓄電池 30分間以上
④ 警報接点入力 無電圧 A接点
⑤ プザー 電子プザー

500 200 参考寸法

500

200

500

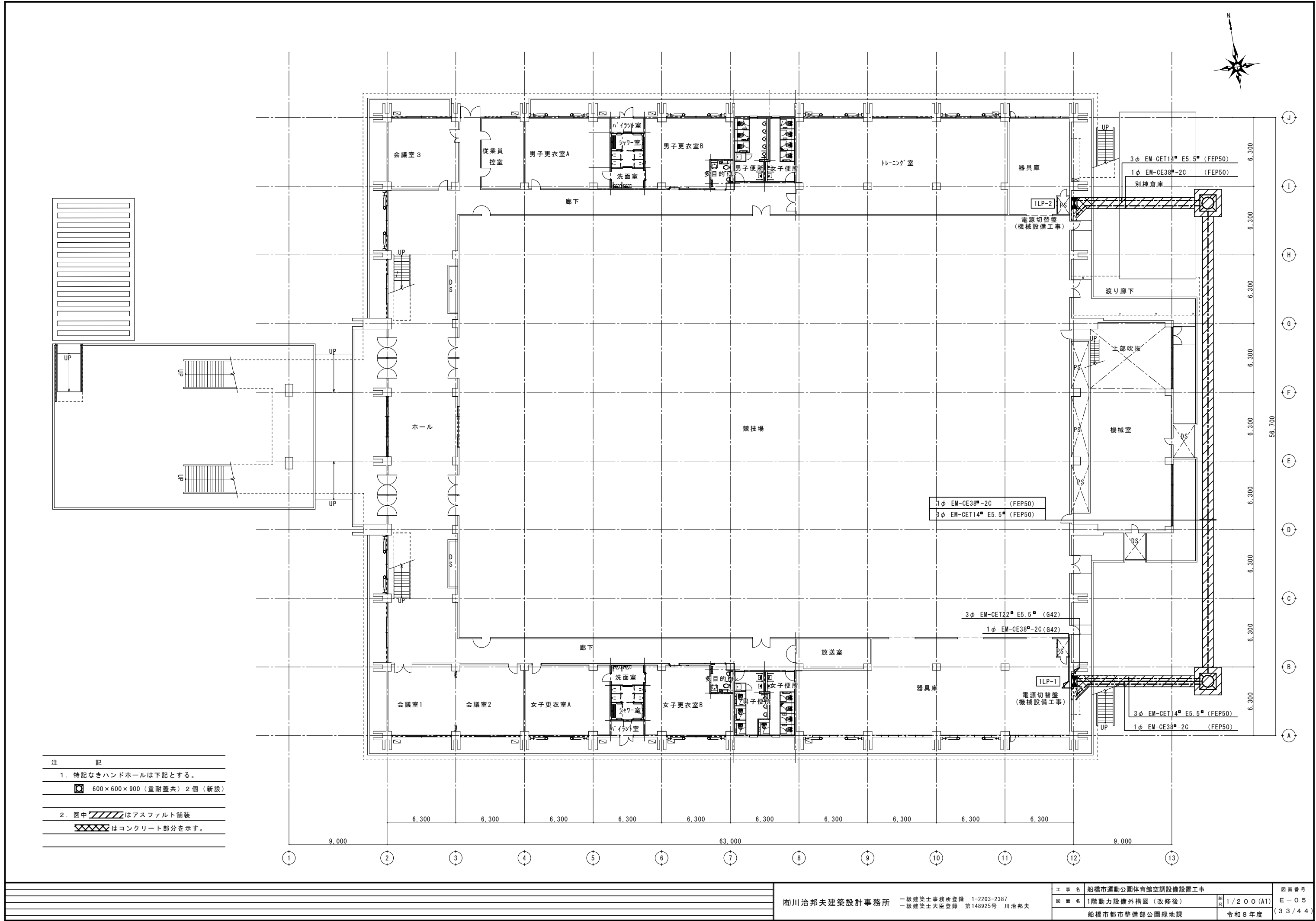
警報リスト

記号	警報種類	記号	警報種類
①	PAS異常	⑥	受水槽湛水
②	受変電設備一括故障	⑦	受水槽満水
③	発電機運転	⑧	ｽﾌｨﾝｸﾞ故障
④	発電機故障	⑨	屋内消火栓ポンプ故障
⑤	給水ポンプ故障	⑩	予備

		工 事 名 船橋市運動公園体育館空調設備設置工事		図面番号 E-03	
		図 面 名 動力分電盤負荷表		編 尺 NS	
		船橋市都市整備部公園緑地課		令和8年度 (31/44)	

(有)川治邦夫建築設計事務所

一級建築士事務所登録 1-1703-2387
一級建築士大臣登録 第148925号 川治邦夫



注 記

1. 特記なきハンドホールは下記とする。

600×600×900（重耐蓋共）2個（新設）

2. 図中  はアスファルト舗装

 はコンクリート部分を示す。

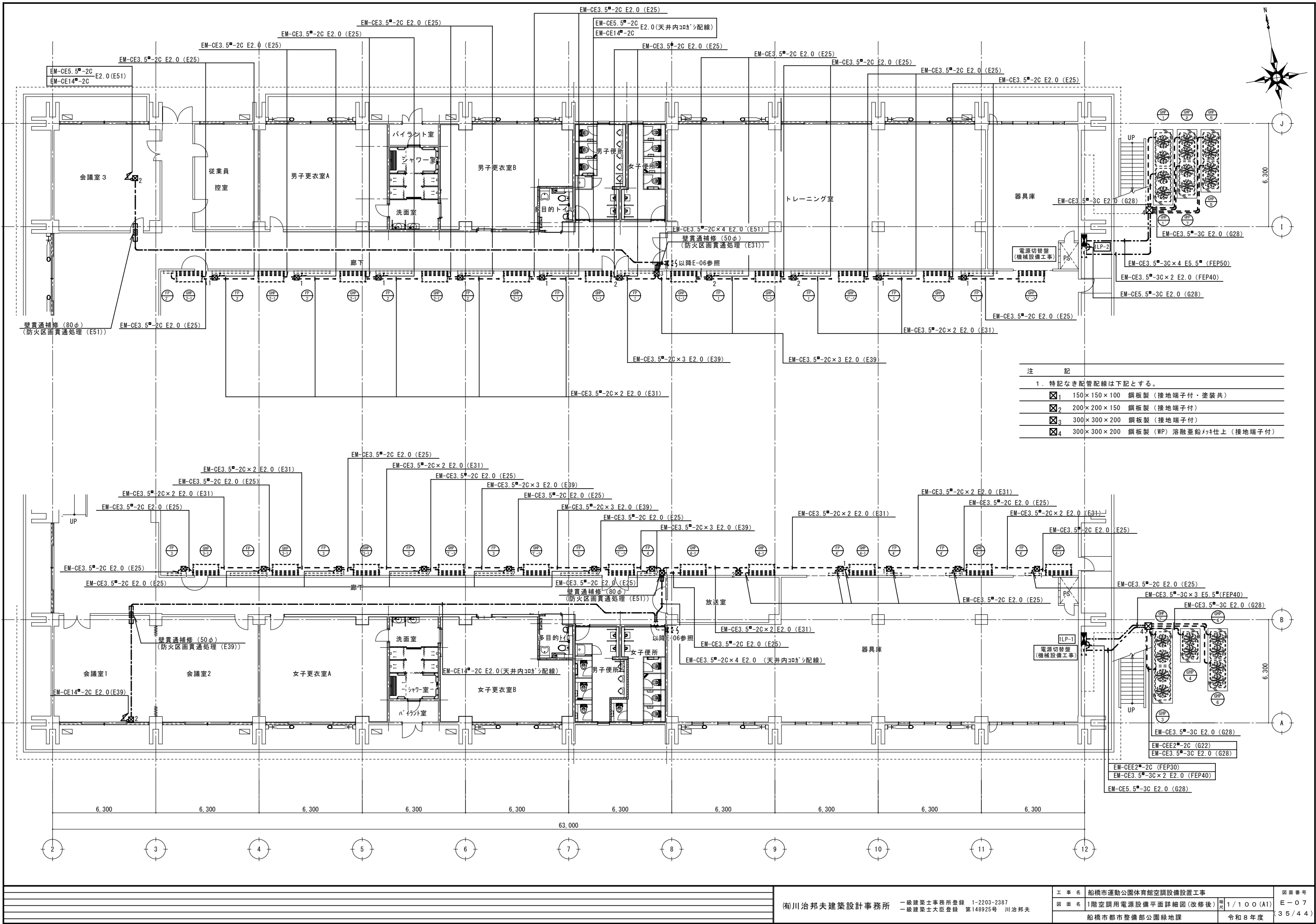
（南）川治邦夫建築設計事務所

一級建築士事務所登録 1-2203-2387

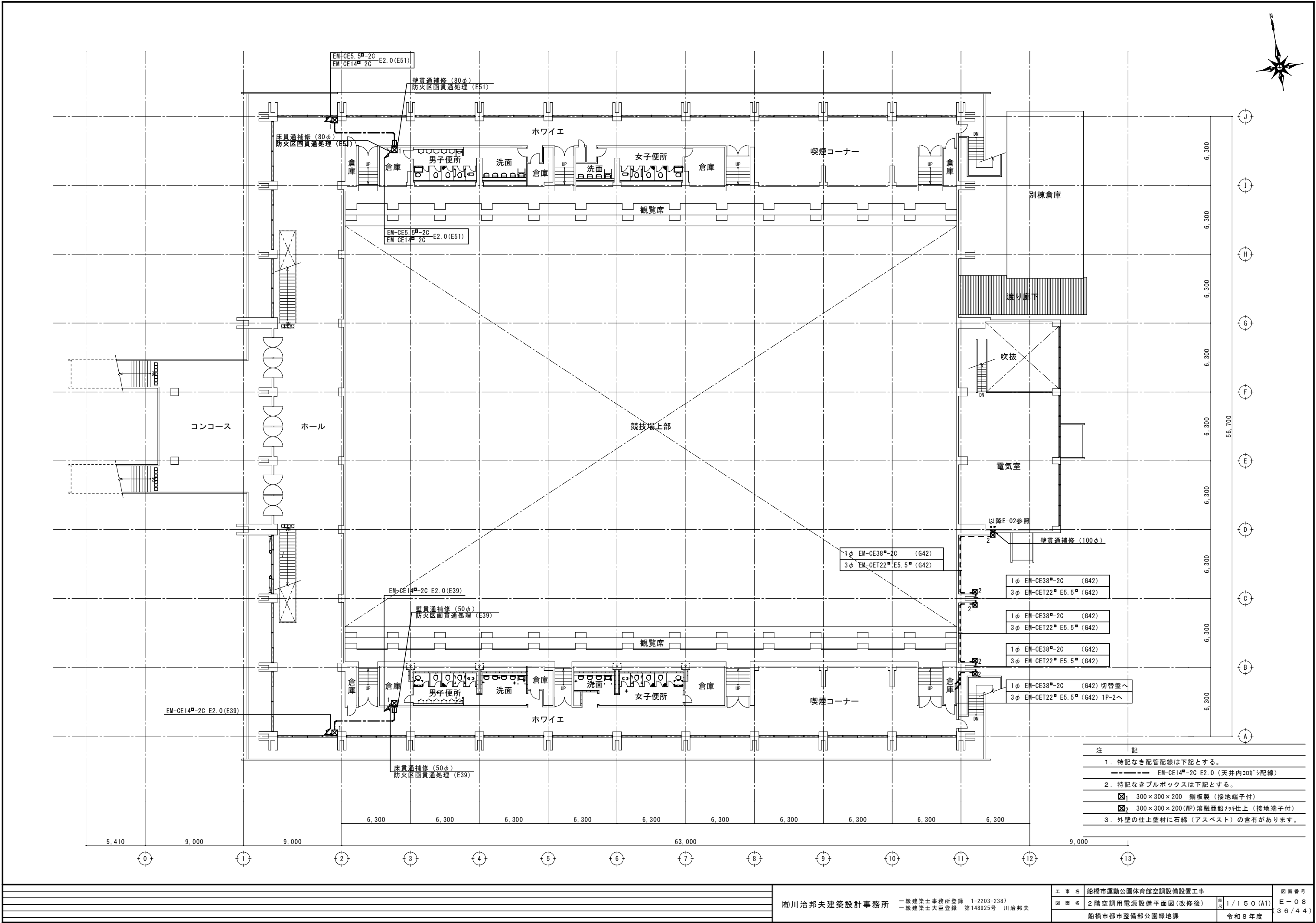
一級建築士大臣登録 第148925号 川治邦夫

工事名	船橋市運動公園体育館空調設備設置工事	図面番号	E-05
図面名	1階動力設備外構図（改修後）	縮尺	1/200(A1)
船橋市都市整備部公園緑地課		令和8年度	(33/44)

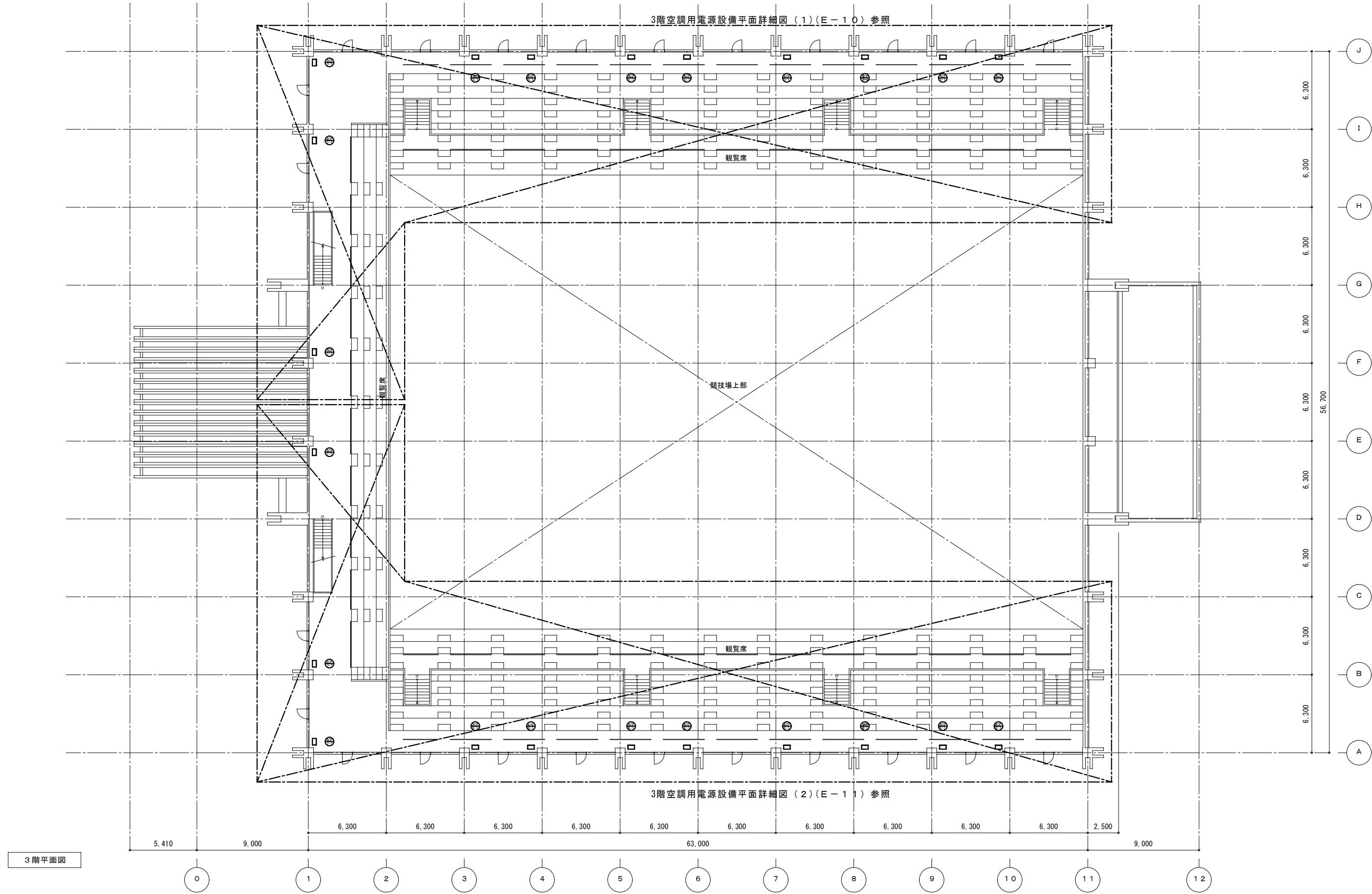


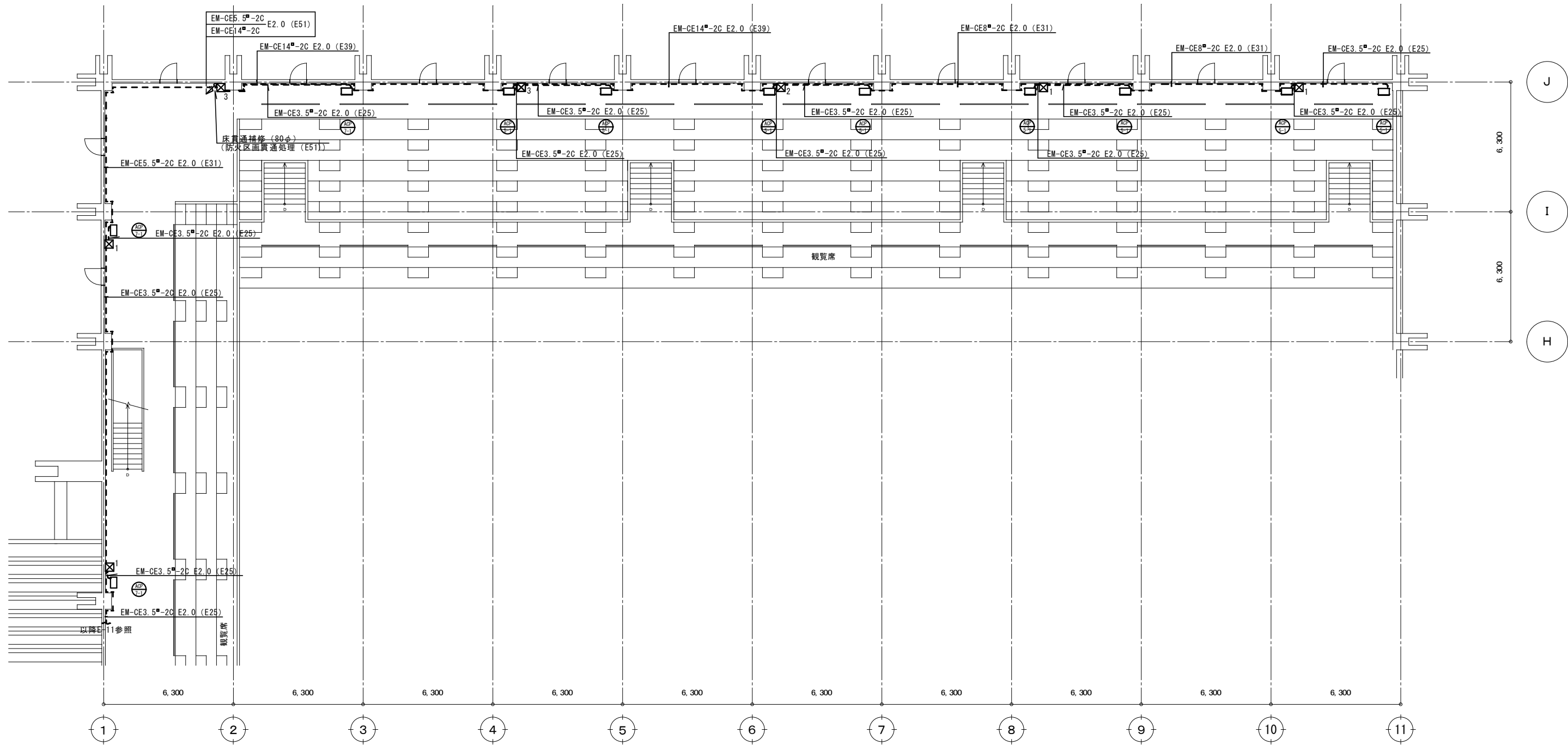
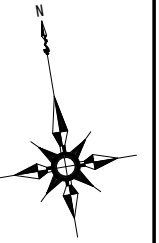


注 記	
1. 特記なき配管配線は下記とする。	
☒ ₁	150×150×100 銅板製（接地端子付・塗装共）
☒ ₂	200×200×150 銅板製（接地端子付）
☒ ₃	300×300×200 銅板製（接地端子付）
☒ ₄	300×300×200 銅板製（WP）溶融亜鉛メッキ仕上（接地端子付）

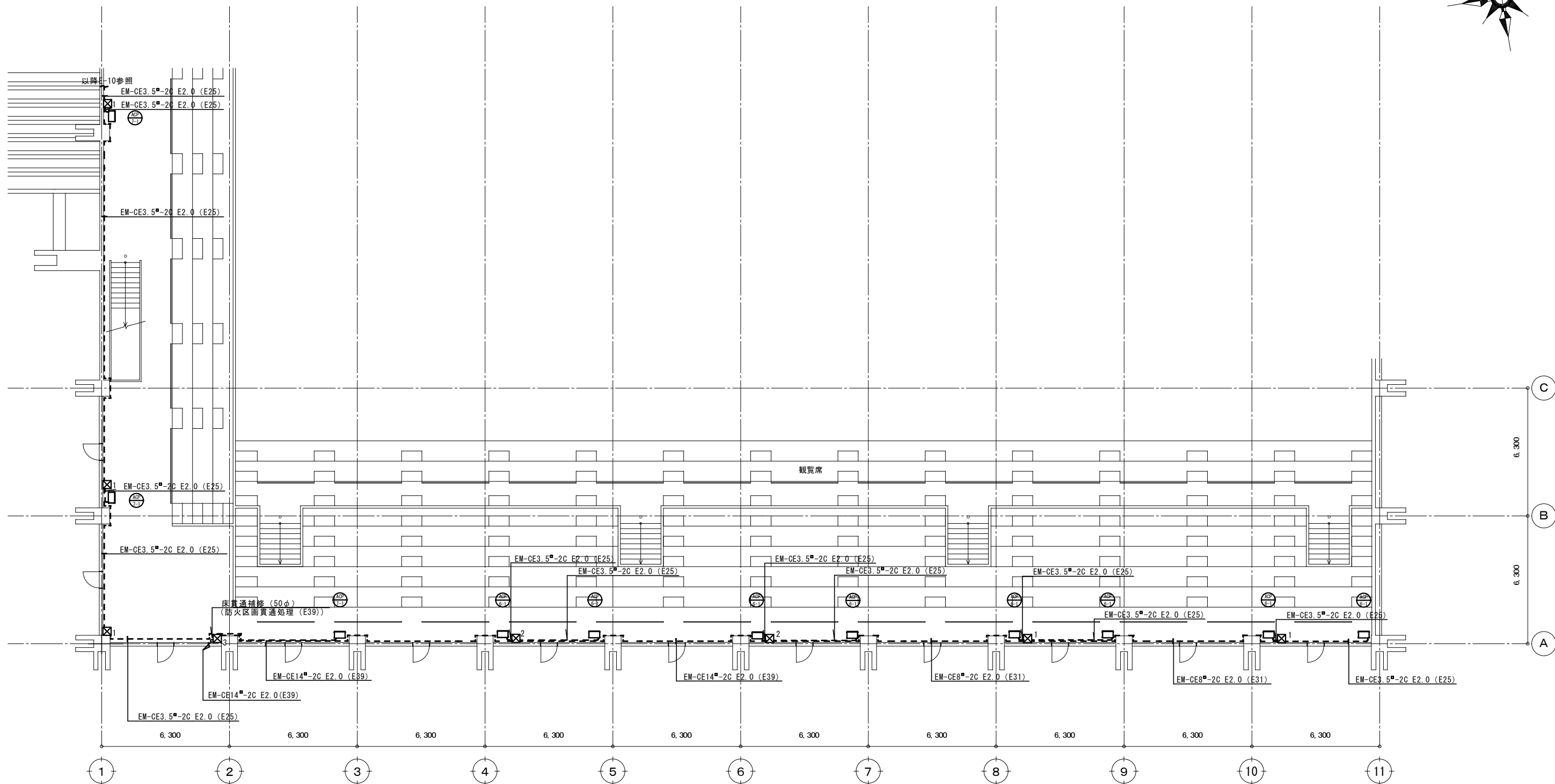
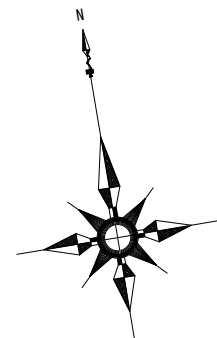


(有)川治邦夫建築設計事務所			一級建築士事務所登録 1-2203-2387 一級建築士大臣登録 第148925号 川治邦夫		工事名	船橋市運動公園体育館空調設備設置工事		図面番号
					図面名	2階空調用電源設備平面図(改修後)		E-08
					船橋市都市整備部公園緑地課	令和8年度		36/44

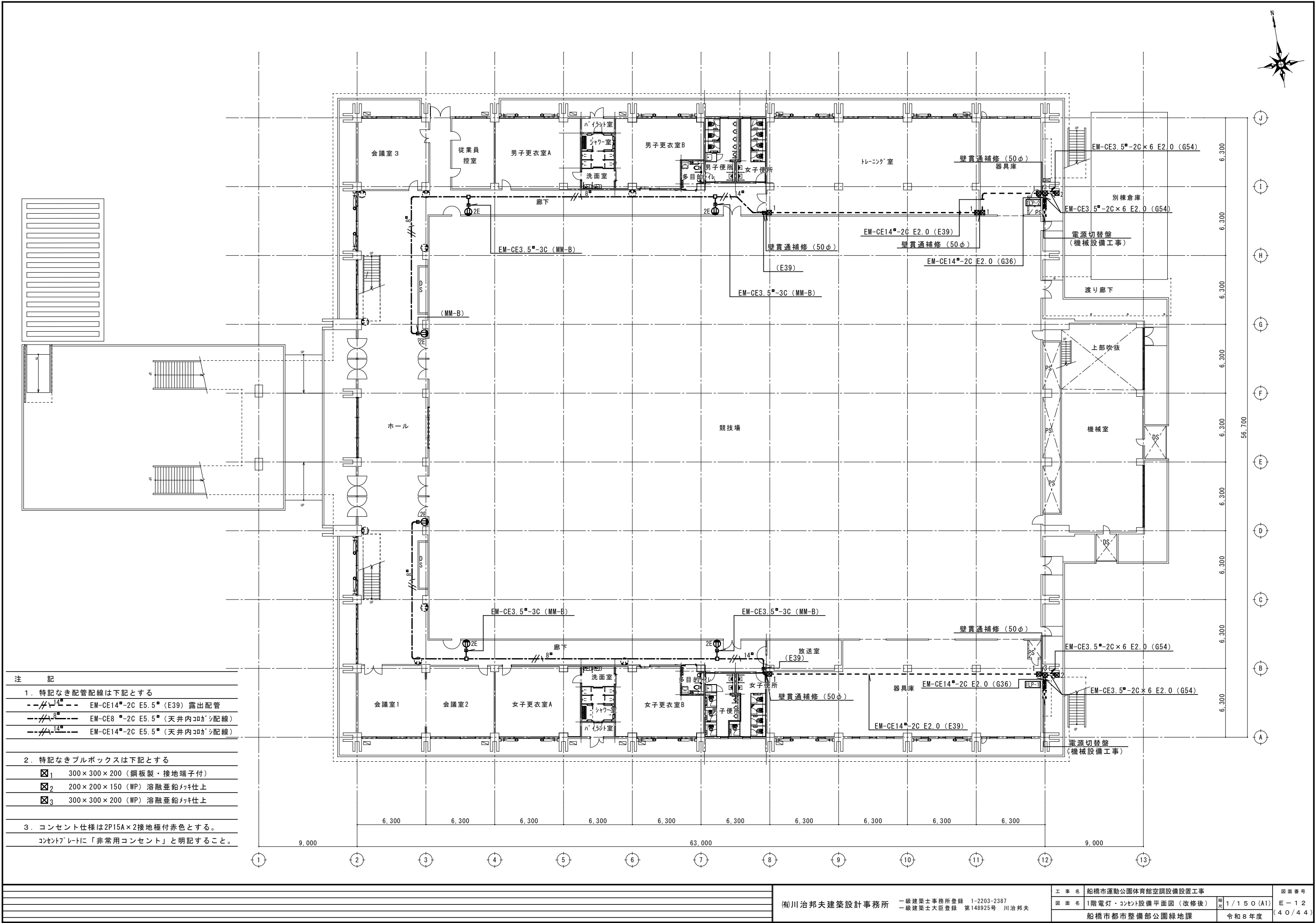




注 記	
1. 特記なき配管配線は下記とする。	
☒ ₁	150×150×100 銅板製 (接地端子付・塗装共)
☒ ₂	200×200×150 銅板製 (接地端子付・塗装共)
☒ ₃	300×300×200 銅板製 (接地端子付・塗装共)



注 記	
1. 特記なき配管配線は下記とする。	
	150×150×100 銅板製（接地端子付・塗装共）
	200×200×150 銅板製（接地端子付・塗装共）
	300×300×200 銅板製（接地端子付・塗装共）



注 記

1. 特記なき配管配線は下記とする

EM-CE14[■]-2C E5.5[■] (E39) 露出配管

EM-CE8[■]-2C E5.5[■] (天井内配管)

EM-CE14[■]-2C E5.5[■] (天井内配管)

2. 特記なきブルボックスは下記とする

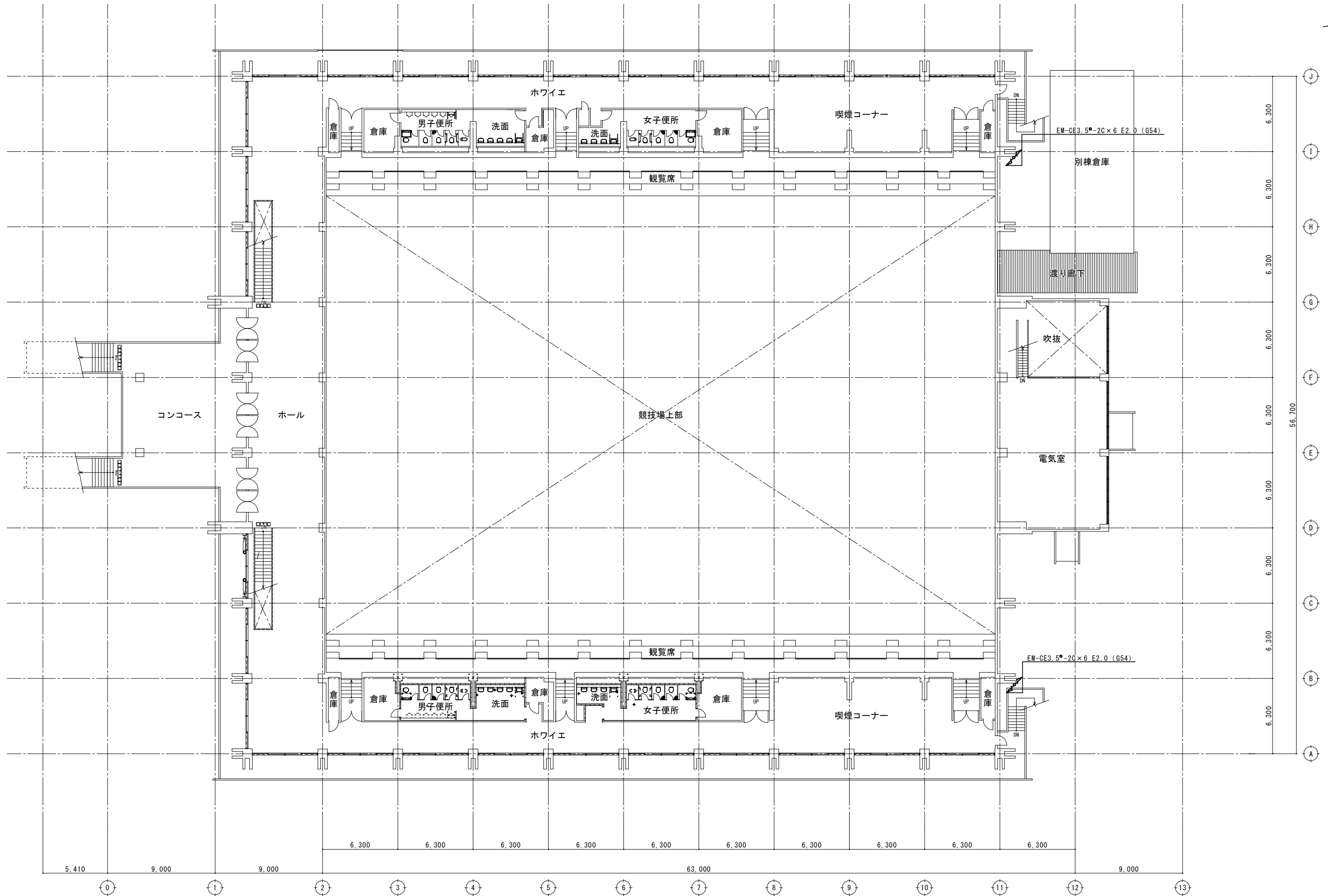
300×300×200 (銅板製・接地端子付)

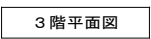
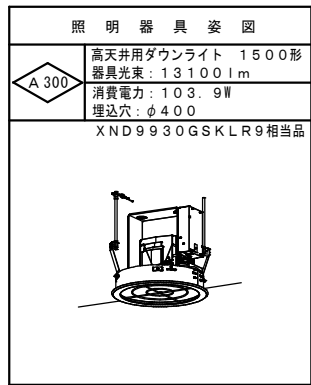
200×200×150 (WP) 溶融垂鉛メッキ仕上

300×300×200 (WP) 溶融垂鉛メッキ仕上

3. コンセント仕様は2P15A×2接地極付赤色とする。

コンセントプレートに「非常用コンセント」と明記すること。





- 注 記

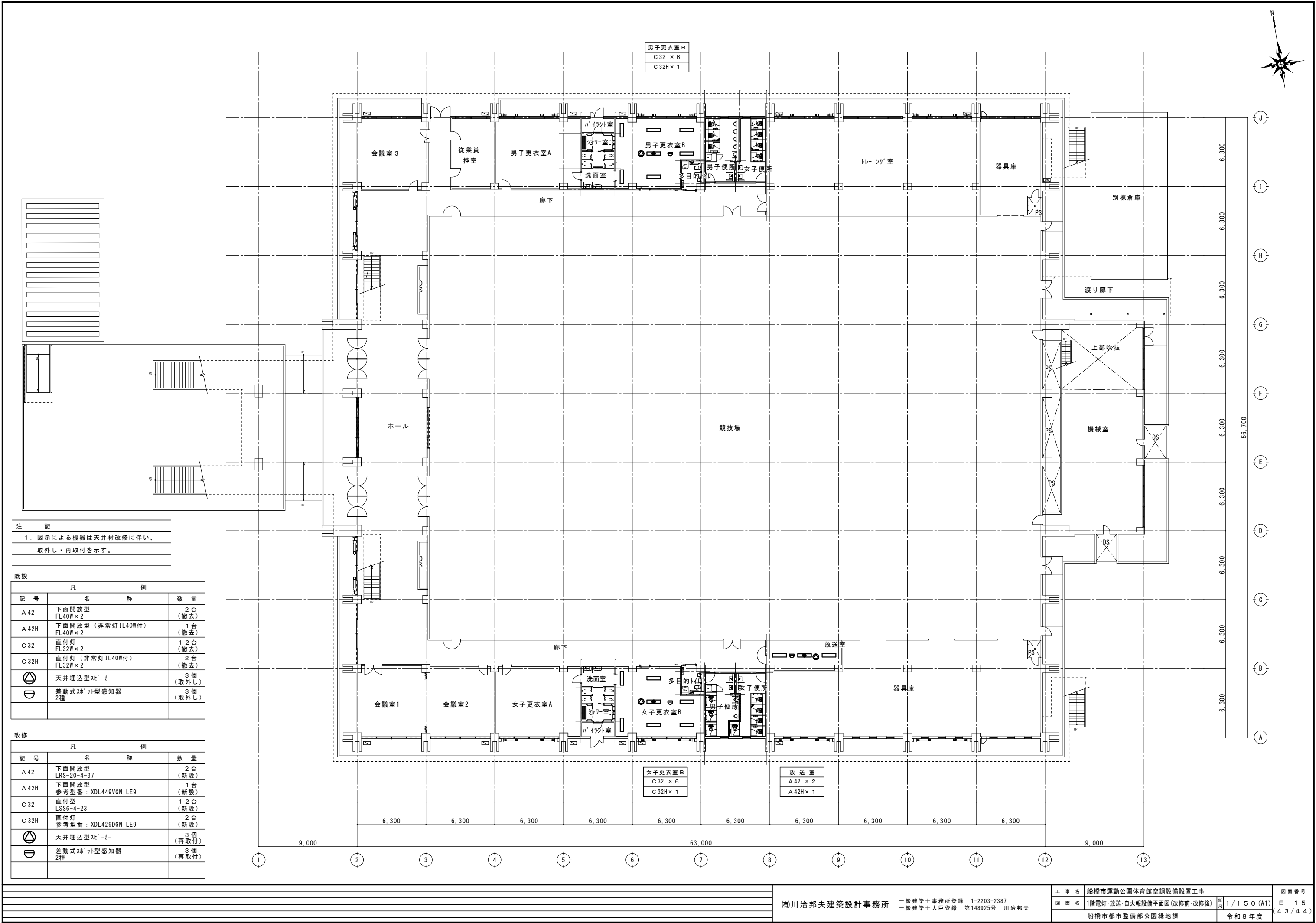
1. 特記なき配線は下記とする。

---//--- EM-CE5.5*~3C (天井内コウシ配線)

2. 特記なきブルボックスは下記とする。

☒₁ 200×200×150 (鋼板製・接続端子付)

☒₂ 200×200×150 (WP・接続端子付)
溶融亜鉛メッキ仕上

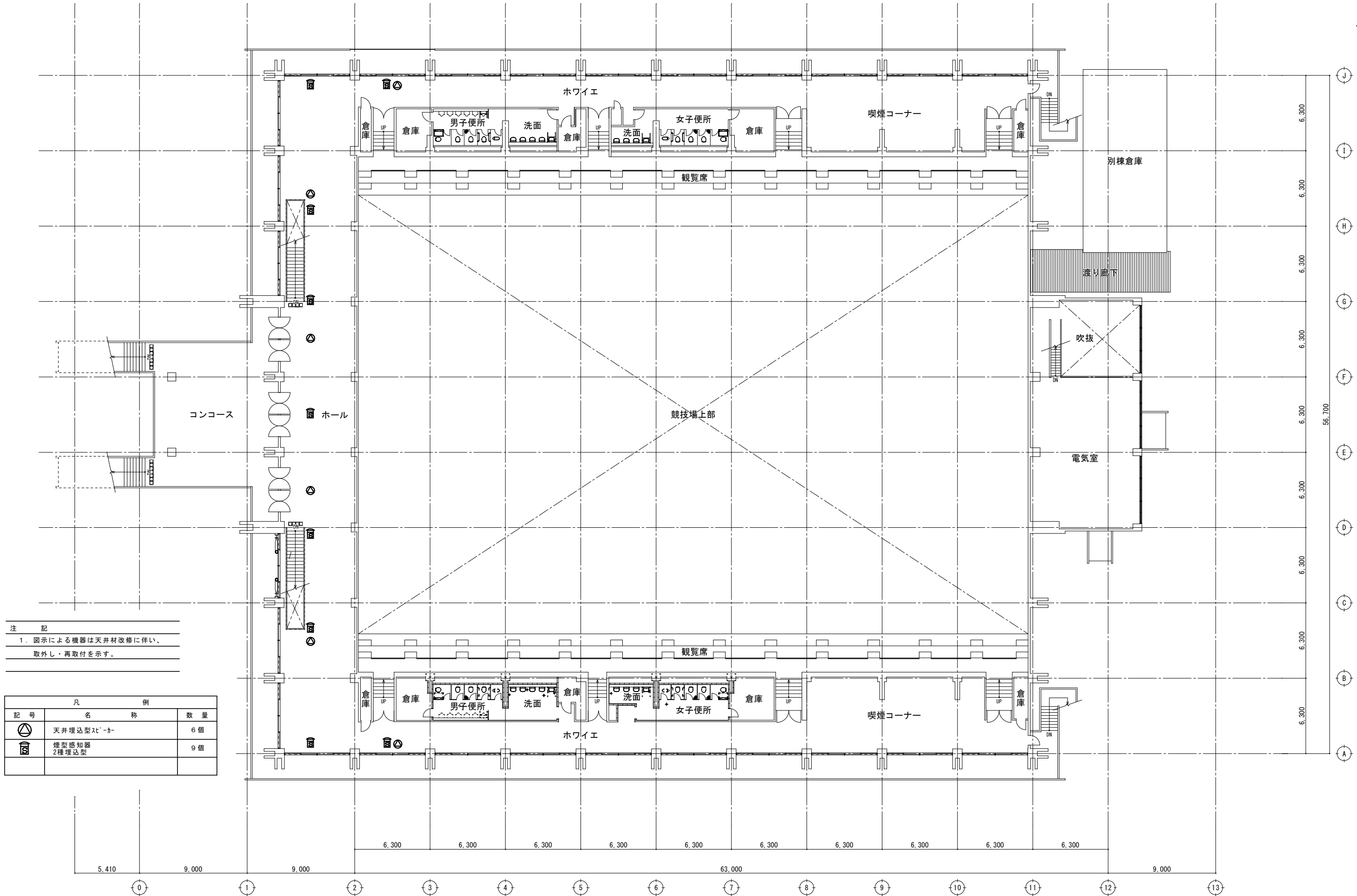


注 記

1. 図示による機器は天井材改修に伴い、
取外し・再取付を示す。

既設		
記 号	凡 例 名 称	数 量
A 42	下面開放型 FL40W×2	2 台 (撤去)
A 42H	下面開放型 (非常灯IL40W付) FL40W×2	1 台 (撤去)
C 32	直付灯 FL32W×2	1 2 台 (撤去)
C 32H	直付灯 (非常灯IL40W付) FL32W×2	2 台 (撤去)
	天井埋込型ｽﾍﾞｰｶｰ	3 個 (取外し)
	差動式ｽﾍﾞｰﾄﾞ型感知器 2種	3 個 (取外し)

改修		
記 号	凡 例 名 称	数 量
A 42	下面開放型 LRS-20-4-37	2 台 (新設)
A 42H	下面開放型 参考型番：XDL449VG N LE9	1 台 (新設)
C 32	直付型 LSS6-4-23	1 2 台 (新設)
C 32H	直付灯 参考型番：XDL429DGN LE9	2 台 (新設)
	天井埋込型ｽﾍﾞｰｶｰ	3 個 (再取付)
	差動式ｽﾍﾞｰﾄﾞ型感知器 2種	3 個 (再取付)



注 記

1. 図示による機器は天井材改修に伴い、
取外し・再取付を示す。

凡 例		
記 号	名 称	数 量
	天井埋込型ｽﾏｰｶｰ	6 個
	煙型感知器 2層埋込型	9 個